

シテ處罰スルコト

尙當地市黨部ノ如キハ市内商人ニ對シ新年店頭ニ貼出ス。對聯ノ代リニ激越ナル抗日排貨ノ文字ヲ列ヘタル「ポスター」

一萬枚ヲ配付セル趣ニテ右ハ既ニ各店頭ニ貼出サレ居レリ
支、北平、滿、奉天、天津、青島、濟南、漢口、廣東、福
州、廈門、香港へ轉電セリ

八 中國排日問題

支へ轉報セリ

北平、奉天、天津、青島、濟南、南京、福州、漢口、廣東

付 不敬記事關係

793 昭和7年1月(10)日

在上海村井總領事より
犬養外務大臣宛(電報)

桜田門事件に関する民國日報の不敬記事につ

き吳市長に陳謝ならびに処罰を要求について

上 海 発

本 省 1月10日後着

二轉電セリ

794 昭和7年1月(11)日

在青島川越總領事より
犬養外務大臣宛(電報)

民國日報不敬記事に居留民激昂の状況について

青 島 発

本 省 1月11日後着

第四號

(一)過般ノ不敬事件ニ關シ九日當地機關紙民國日報ハ「韓國亡ヒス義士李某云々」ナル標題ノ下ニ同事件ノ概要ヲ報道

セル處右標題ハ甚タ不敬ナルニ付直ニ公文ヲ以テ市政府ニ對シ嚴重抗議ヲ申入レ引續キ交渉中ナリ

(二)在留邦人ハ大イニ激昂シ十二日居留民大會ヲ開催對策ヲ協議スルコトナリタル趣ニテ又行政委員會ハ本日協議ノ結果本官ニ對シ民國日報ノ廢刊、黨部ノ解散ヲモ併セ交渉

セラレ度キ旨申出テ居レリ尙邦人中ニハ黨部襲撃ヲスラ口ニスル者アリ情勢穩カナラス

ニ使ヨリ上海へ轉報アリタシ

支、北平、南京、天津、濟南へ轉電セリ

795 昭和7年1月11日

在福州田村總領事より
犬養外務大臣宛(電報)

林知淵が民國日報不敬記事に關し陳謝しかつ

主筆の逮捕を報告について

福州 1月11日後発
本省 1月12日前着

第二七號

二日以來ノ事件ニ付テハ既報ノ通り領事團會議ヲ召集シ一應經過ヲ説明シタルカ尙六日事件解決ト共ニ再ヒ領事團ニ事情ヲ説明セルニ何レモ今回我方ノ執レル措置ニ付テ了解セル旨ヲ告ケ反日會解散實行方ニ關シ種々意見ヲ述ヘ居リタリ

新聞不敬記事記載ノ件ニ關シテハ十日朝林知淵省政府ヲ代表シテ來館鄭重陳謝ノ意ヲ表シタルカ其際本官ハ重ネテ事苟モ友邦ノ元首タル我陛下ニ係ルコトニテ精神的意義ヨリ言ヘハ前二事件ヨリモ遙ニ重大ナル旨ヲ告ケ責任者ノ處罰方ヲ求メタルニ林ハ省政府ニ於テモ特ニ之ヲ重大大視シ新潮日報主筆吳長明ヲ即時逮捕シ直ニ之ヲ高等法院ニ送致シタ

支、北平、南京、廣東、汕頭、廈門へ轉電セリ
796 昭和7年1月12日 在上海村井總領事より
犬養外務大臣宛

支、北平、南京、廣東、汕頭、廈門へ轉電セリ

796 昭和7年1月12日 在上海村井總領事より
犬養外務大臣宛

支、北平、南京、廣東、汕頭、廈門へ轉電セリ

民國日報掲載の不敬記事切抜きおよび吳上海

機密第六四號 (1月20日接受)

昭和七年一月十二日

在上海

總領事 村井 倉松 (印)

外務大臣 犬養 毅殿

民國日報不敬表題事件ニ關スル件

當地民國日報カ一月八日ノ不敬事件報道ニ際シ不敬ニ涉ル表題ヲ用ヰタル事件ニ關シテハ往電報告ノ通ナル處右問題ノ記事新聞切抜並ニ本官ヨリ吳市長宛抗議文寫茲ニ送付ス本信寫送付先 在華公使

北平 青島 濟南 福州 南京 (切抜添付省略)

敬具。

昭和七年一月十日

在上海

上海市政府

市長 吳鐵城殿

總領事 村井 倉松

ヲ表明セシムルト共ニ同日報責任者ヲ處罰シ今後獨リ民國日報ノミナラス各新聞ニ於テ再ヒ斯ル不遜ノ行爲言動無カラシムル様至急御措置相成其結果御同示相煩度、此段得貴意候。

797 昭和7年1月13日 在廣東須磨總領事代理より
犬養外務大臣宛(電報)

桜田門事件に関する英字紙廣東ガゼットの論評不穩につき程廣東市長に嚴重抗議申入れに

ついて

廣東 1月13日後発

拜啓。陳者、一月九日發行民國日報ハ一月八日東京ニ於ケル不敬事件ヲ報道スルニ當リ「韓人刺日皇未中」ナル表題ニ附スルニ「不幸僅炸副車兇手即被逮」ナル見出シヲ以テシ居ル處、右字句ハ我國元首ニ對シ不敬ニ涉ルモノニ有之、民國日報カ故意ニ我方ノ感情ヲ刺戟セントセルモノト認メ

ラレ候ニ就テハ同日報ヲシテ速カニ右記載ヲ訂正シ且陳謝

不敬事件ニ關シ當方面ノ新聞ハ單ニ事實ヲ報道セルノミニ
テ何等論評ヲ加ヘタルモノナカリシカ十三日英字紙「カン
トンガゼット」ハ俄然本件ニ關シ論評ヲ掲ケ右ハ實ハ日本

人淺山ナル者ノ犯行ニテ日本軍閥力皇室ヲ擁シテ暴威ヲ振
ヒタル爲斯クノ如キ結果ヲ招來セル等不穩ニ亘ル言辭ヲ弄
シ居ルヲ以テ十三日本官市長ニ面會シ嚴重警告ヲ與ヘ右英
文ノ漢譯ヲ嚴禁スルハ勿論將來此ノ種不謹慎ナル言辭ヲ絕
對取締ル様申聞ケタル處市長ハ大イニ恐縮シ此ノ種不謹慎
ナル論說乃至報道ハ將來絕對ニ取締ルヘキハ勿論前記新聞
ノ主筆ヲ早速呼ヒ付ケ貴官ニ對シ遺憾ノ意ヲ表セシムル様
取計フヘシト申述ヘタルニ付市長ノ意ノアル所ヲ諒トシテ
引取リタリ

公使ヨリ上海ニ轉報アリ度シ

公使、北平、奉天、南京、福州、汕頭ニ轉電セリ

798 昭和7年1月14日 芳沢外務大臣より
在仏國栗山臨時代理大使 在米國出淵大使宛(電報)
民国日報の不敬記事に激昂した青島在留邦人の同社および国民党部等襲撃放火について

退散スルニ至レリ(同日騒擾中露國人一名負傷他二被害者
ナキ模様)然ルニ翌十三日モ邦人側ノ氣勢依然不穩ニテ總
領事館ニ於テハ警戒ニ努メ居リ陸戰隊中約二百名引續キ陸
上ニ留マリ居レルカ一方市政府ハ同日前記川越總領事要求
條件ヲ大体應諾シタリ

(佛宛ニハ「在歐各大使ニ轉電シ聯盟ニ轉報アリタシ」ト附
記ノコト)

(付記)

* 昭和七年十二月外務省亞細亞局第二課調書ニ據ル

青島ニ於ケル邦人ノ市黨部等襲撃事件

一、事件ノ概要

昭和七年一月九日青島市黨部機關紙民國日報ガ櫻田門外

大逆事件ニ關シ帝國皇室ニ對スル不敬記事ヲ掲載スルヤ

平素市黨部及民國日報ノ排日的行動ニ極度ノ悪感ヲ懷ケ

ル居留邦人ノ激昂甚シキモノアリ一月十二日約一千名參

集シテ居留民大會ヲ開キ市政府ノ公式陳謝、市黨部ノ解
散、民國日報ノ廢刊等ヲ決議シ形勢穩カナラザリシモノ
アリ偶々同日午前九時洋裝學生風ノ男子二、三名民國日

合第九七號
一月九日發刊青島黨部機關紙民國日報カ「韓國亡ヒス義士
李某云々」ナル標題ヲ附シ過般ノ不敬事件ヲ報道シタルニ
對シ川越總領事ヨリ市政府ニ嚴重抗議シ市政府及新聞社長
ノ陳謝、執筆者ノ罷免、新聞ノ停刊等ヲ含ム解決條件ヲ以
テ交渉中ナリシ處右記事ニ甚タシク激昂シタル日本居留民
ハ十二日大會ヲ開キ約千名參集强硬ナル決議ヲ爲シタル上
實行委員之ヲ携ヘ總領事館、市政府、市黨部、民國日報社
等ヲ往訪ノ事トナリタルカ會衆約二百名ハ領事館警察官ノ
制止ニ拘ラス之ニ隨行午後八時過キ民國日報社ニ赴キ窓硝
子其他ヲ破壊シ更ニ市黨部ニ向ヒ此ノ間九時頃市黨部建物
四階ヨリ發火同建物ハ全焼ニ歸シタリ尙同日午後五時頃邦
人約二十名市黨部ニ至リ拳銃ヲ發射セル等ノ事實アリ我方
ハ總領事館警察ノ手ニテハ取締ニ不足ヲ來シタルト支那側
復仇ニ備フル爲メ午後十時在泊中ノ軍艦ヨリ陸戰隊約五百
名ヲ上陸セシメ警戒ニ當ラシメタルカ群衆ハ十時半頃漸次

付記 亞細亞局第二課作成(十二月、日付不明)
「青島ニ於ケル邦人ノ市黨部等襲撃事件」
本省 1月14日発

報社ヲ訪レ立番巡警ニ拳銃ヲ發射シ(命中セズ)其ノ隙ニ
乗ジ階下ノ一室ニ揮發油ヲ撒キ掛ケ放火セントシタル事
件アリ支那側ニテハ確證無キモ犯人ヲ日本人ト推察セル
模様ニシテ我總領事館側ニテモ嚴重警戒中ノ處前記居留
民大會解散後七十名ノ實行委員ハ協議ノ結果四班ニ分レ
右大會決議ヲ齋ラシ市政府、民國日報社、市黨部及總領
事館ヲ往訪スルコトトナリタルガ民國日報社及市黨部ニ
向ヘル實行委員ニハ我方警察官必死ノ制止ニ拘ラズ殺氣
立チタル群衆ノ一部隨行シテ午後八時過先ヅ民國日報社
ニ到リ窓硝子其ノ他ヲ破壊シ更ニ市黨部ニ押掛け其ノ間
午後九時頃同部建物四階ヨリ發火シ同建物ヲ全焼シ午後
十時過ニ至リテ群衆漸次退散シ夜半ニ及ビ殆ド平靜ニ歸
セリ

三、我海軍陸戰隊ノ上陸

敘上邦人群衆ノ暴行ハ到底總領事館警察官ノ手ニテ抑止
シ得ザルモノト認メラレ他面支那側ノ復仇等ノ懸念モア
リ事態頗ル急ヲ告ゲタルニ付川越總領事ハ急遽第二遣外
艦隊側ト協議ノ結果十二日午後十時在泊中ノ出雲及八雲
ノ二艦ヨリ陸戰隊約五百名ヲ上陸警備ニ當ラシメタルガ

翌十二日ニ至リテモ居留民ノ一部ニハ激昂猶熄マズ同夜

ヲ期シ市政府其ノ他ヲ襲撃セントスルノ氣配アリ且支那

官憲、黨部要人及我總領事館ニ對^(マツ)シテモ反抗妄動セン

トスル形勢アリシヲ以テ同日夕刻我陸戰隊ハ首席指揮官

ノ名ヲ以テ居留民ニ對シ「我陸戰隊ノ任務ハ專ラ居留民

保護ニアリ然レドモ萬一我領事館ノ警察權ニ反抗妄動ス

ル者アラバ其ノ何人ヲ問ハズ正當ナル我警察權擁護ノ爲

斷乎タル處置ニ出ヅルコトアルベシ」トノ警告ヲ發スル

所アリ總領事館側ノ嚴重警戒ト相俟テ事態漸次平靜ニ歸

シタルヲ以テ陸戰隊ハ十五日迄ニ全部歸艦ヲ了セリ

三、邦人犯人ト處罰

我總領事館ニ於テハ事件發生後大體人心ノ沈靜ヲ俟チ一月十九日ヨリ犯人ノ檢舉調査ニ著手シ被疑者二十數名ヲ引致取調べ審理ノ結果騒擾罪トシテ證據充分ナル者十三名中十名ニ對シテハ三月十八日略式命令ヲ以テ罰金刑ヲ科シ三名ハ四月二十一日同館公判ヲ以テ懲役刑ニ處シ又本件犯罪ノ證據充分ナラザルモ嫌疑濃厚ニシテ且平素ノ言動公安ヲ害スルノ虞アル者七名ニ對シテハ三月十六日ヨリ六月二十六日迄ノ間ニ於テ夫々三年又ハ二年ノ在留

禁止處分ニ附シ以上ヲ以テ本件ニ關スル處分ヲ完了セリ

四、青島市政府ノ抗議ト我方ノ回答

本件ニ關シ青島市政府ハ一月十三日附公文ヲ以テ民國日报社ニ對スル十二日朝ノ暴行及同夜ノ民國日報社襲撃及市黨部ノ燒討ハ孰レモ邦人ノ所爲ナリト前提シ(一)我方ノ陳謝(二)犯人ノ處罰(三)損害賠償請求權ノ留保(四)將來ノ保障ノ四項ヲ要求シ來リ又帝國海軍陸戰隊ノ上陸ニ付テモ同日附公文ヲ以テ日本在留民ノ生命財產ハ支那側警察ニ於テ完全ニ維持スベキヲ以テ至急之ヲ歸艦セシメラレ度旨要求シ來レリ

右ニ對シ川越總領事ハ先づ十八日附公文ヲ以テ陸戰隊ハ支那側ニ於テ治安維持ノ責務ヲ盡サザリシ結果在留民保護上已ムヲ得ズ揚陸シタル次第ニシテ其ノ後市狀大體常態ニ復シ留置ノ必要ナシト認メラルルヤ直ニ之ヲ歸艦セシメタル旨ヲ回答シ又市黨部燒討事件等ニ關シテハ同月二十三日附ヲ以テ(一)本件發生ハ其ノ緣由ガ我皇室ニ對スル再度ノ不敬行爲ニ在ルコト(二)治安維持ハ支那側當然ノ責務ナルニ不拘本件發生ハ要スルニ支那側ニ於テ其ノ責務ヲ盡サザリシニ因ルモノナルガ故ニ我方ニ於テ支那側

ニ對シ何等責任ヲ負フベキ理由ナキコト(三)尤モ居留民保護取締ノ職責上取調ノ結果邦人ノ犯行明白トナラバ適當處分スベク又將來ニ於テモ出來得ル丈ヶ邦人ノ取締ニ努力ベキハ言フ迄モナキトノ趣旨ヲ回答セリ

然ルニ市政府ハ更ニ二月二十四日附公文ヲ以テ本件ハ日本官憲ニ於テ居留民ノ暴行取締ノ責ヲ盡サザリシニ基クモノナリトシテ前記四項ノ要求ヲ繰返シ且犯人處罰ノ結果ノ回示方並ニ民國日報社及市黨部ノ損害計五十九萬五千六百七元餘ノ賠償方ヲ要求シ來レルヲ以テ川越總領事ハ八月八日附公文ヲ以テ重不テ本件ノ發生ハ支那側ガ治安維持ノ職責ヲ盡サザリシ結果ニシテ我方ニ對シテ本件ノ責任ヲ問ヒ要價ヲ求ムルハ全然筋違ナル旨並ニ本件犯行者ハ事件當時直ニ取調ニ着手シ夫々法ニ照シテ之ガ處分ヲ了シタル旨ヲ回答スル所アリタリ

五、國民政府ノ抗議ト在支公使回答

他方國民政府ニ於テハ一月十五日附覺書ヲ以テ在支公使ニ對シ「青島市政府ヨリノ電報ニ依レバ同地在留日本人ハ十二日暴徒千餘名ヲ集合シ青島黨部ニ至リ火ヲ放チ同黨部建物全部燒燬セルニ付日本領事ニ對シ抗議ヲ提出シ

依テ在支公使ハ帝國政府ノ訓令ニ基キ同三十日附外交部宛覺書ヲ以テ「本件發生ノ根本原因ハ客年不敬記事ヲ掲ゲタル民國日報ガ今回再び重大ナル不敬記事ヲ掲ゲタルニ存スル處右ハ畢竟市政府ガ客年ノ言明ニ不拘右新聞紙取締ノ徹底ヲ缺キ且我總領事累次ノ抗議ニ不拘外團體等ノ策動ヲ誠意ヲ以テ抑制セザリシニ起因スルモノニシテ我方トシテハ事件發生ノ當日邦人ノ越軌行爲抑止ニ最善ヲ盡シタル次第ナルヲ以テ本件ニ關スル全責任ハ市政側ニ在リ帝國政府ニ於テ何等責ヲ負フベキ理由ナク從テ在青島帝國總領事ニ對スル市政府ノ要求ハ應諾シ得ベキ限リニアラズ若シ邦人ニ法ニ觸ルル所爲アリタルコト

明白トナラバ右ハ我方ニ於テ當然處分スペキモノニシテ
支那側ノ要求ノ有無ニ關セズ」トノ趣旨ヲ回答セシムル
所アリタリ

799 昭和7年1月14日 在南京上村領事より
大養外務大臣宛

桜田門事件犯人を「韓國志士」とする中國新

聞報道に關し外交部に抗議申入れについて

(1月26日接受)

昭和七年一月十四日

在南京

領事 上村 伸一〔印〕

上海 本省 1月15日後着 発

外務大臣 大養 毅殿 鮮人ノ不敬事件ニ關スル新聞記事ニ關スル件

本日八日東京ニ於ケル鮮人李奉昌ノ不敬事件ニ關シ當地支那新聞ハ九日以來東京、京城、上海方面ヨリノ通信ヲ掲載セルカ新聞中ニハ記事ノ見出シニ「韓國志士」ノ如キ文字ヲ使用セルモノアリ甚チ穩當ナラスト認メタルヲ以テ本月十二日本官外交部亞州司長沈觀鼎ヲ往訪ノ上新聞切抜ヲ提

示シロ頭ヲ以テ抗議ヲ申入レタル處同司長ハ頗ル恐縮シ遺憾ノ意ヲ表スルト共ニ何等適當ナル措置ヲ取ル様考慮スヘキ旨挨拶スル所アリタリ

右不取敢報告ス

本信寫送付先 公使 上海 北平

800 昭和7年1月15日 在上海村井總領事より
芳沢外務大臣宛(電報)

青島における民国日報社等襲撃事件に關し英字紙の日中兩国に自重を勧告する論評について

第三一號
十四日ノ「イブニングポスト」ニ於テ「ウッドヘッド」ハ青島事件ヲ評シ大要左ノ通論セリ

日本人ハ天皇陛下ニ對スル不敬事件ニ付テハ最敏感ニシテ多數ノ日本人居住スル青島ニ於テ民國日報ノ如キ不敬事件ヲ掲載セルハ自ラ禍ヲ招ケルモノト云フヘシ支那ニ於ケル

今同ノ排日程不法且ツ強烈ナルハ無ク過去三ヶ月間忍耐ヲ重ネ來レル在支日本人力今ヤ揚子江及其他ノ地方ノ排日ニ關シ新外務大臣ニ對シ强硬ナル請願ヲ爲シツツアルハ尤ナリ上海ニ於ケル一部日本人力強力措置ニ出テントセル事數回アリシモ日本官憲ノ注意ニ依り大事ニ至ラサリシカ廣東福州ノ日本人被害事件ニ次キ青島ノ不敬事件起り日本人ノ感情ハ極度ニ刺戟セラレタリ福州ニ於テ日本海軍ノ執レル行動ハ日本政府ノ忍耐モ破裂點ニ近ツキツツアルヲ思ハシム中央政府存在セサル今日支那地方官憲ニ於テ進ンテ排日運動ヲ取締ラサレハ支那沿岸及内水諸港ニ於ケル日本ノ干渉ハ屢々發生スヘシ

(2) 支那官憲タル者ハ日本人ニ對スル不法暴行ノ默許又ハ指嗾ニ依リ何等得ル處ナク又滿洲問題解決ヲ何等促進セス却テ

日本輿論ヲ刺戟シ支那本部諸港ノ軍事占領ノ要求ヲ招來スル危險アルコトヲ知ラサルヘカラス若シ支那ニシテ日本トノ外交關係斷絶ヲ決セリトセハ別問題ナルモ若シ支那ノ有

力ナル政治家ノ信スルカ如ク日本トノ争ハ自殺行爲ニ等シトスレハ支那本部ニ於テ出來ル丈ヶ日本ニ對シ挑發的行爲ヲ控ユルコト支那國民ノ利益ナリ

801 昭和7年1月16日 在上海村井總領事より
芳沢外務大臣宛(電報)

**民國日報不敬記事に關し吳市長への要求条項
上申について**

上海 本省 1月16日後着 発

第三七號(大至急)

本件標題ヲ我方ニ於テハ本行爲ノ結果カ副車ノ破壊ニ止マ

843

轉告日領署外特此聲明

(付記)

本日九日本報關於日皇遇刺之紀載標題中有「不幸僅炸副車兇手即被逮」字樣日領署方面認為含有侮辱該國元首之意曾向市政府提出抗議本報編輯寫此標題時其意確係對於日皇遇刺事件表示不幸並無絲毫侮辱日本元首之意但因用字未盡允

當致引起日領署方面之誤會至為歉仄除函復市政府請將此意

轉告日領署外特此聲明

貴電第五號ニ關シ

第四號

上 海 發
本省 1月18日後着

(訳文)

不敬記事ニ關スル一月十六日上海民國日報聲明

本月九日本報ノ日本皇帝ノ刺客ニ襲ハレタル事件ニ關スル記事標題中ニ「不幸僅炸副車兇手即被逮」ナル文字有リタルタメ日本領事館側ニテハ之該國元首ヲ侮辱スルノ意味ヲ含ムモノナリト認メ曾テ市政府ニ對シ抗議ヲ提出シタルカ本報記者カ此標題ヲ書キタル時ハ其ノ意味ハ確カニ日本皇帝ノ遭難事件ニ對シ不幸ナル旨ヲ表示シタルモノニシテ日本ノ元首ヲ侮辱スルカ如キ意ハ聊カモナカリシナリ只用語キタルハ甚々遺憾トスル次第ナリ茲ニ市政府ニ對シ書面ヲ以テ回答シ此意ヲ日本領事館ニ轉達方呈請スルト共ニ右特ニ此ニ聲明ス

二此ニ聲明ス

804 昭和7年1月19日 在上海頭戶根木(長之助)領事館事務
代理より 芳沢外務大臣宛(電報)

不敬記事を掲載のため汕報の停刊および陳謝

802 昭和7年1月17日 芳沢外務大臣より
在上海村井總領事宛(電報)

民国日報不敬記事事件解決に関する要求案項に
は同意するが居留民の動向注意方指示について

本省 1月17日後発

第五號(至急)

貴電第三七號ニ關シ

御來示ノ條件ニテ解決セラレ差支無キモ青島ニ於ケル居留民暴行事件ノ例モアリ貴地一部居留民カ右條件ヲ以テ不満足ナリトシ何等越軌ノ行動ニ出ツルコト無シトセサルヘキニ付固ヨリ御如才無キコト、ハ存スルモ其辺特ニ警戒セラル、要アリト思考ス為念

貴電通轉電アリ度

一、市長ハ民國日報社社長ヲ解職シ將來再ヒ同様ノ誤ラ繰返ササル事ヲ保障セシメ其ノ旨總領事ニ通報スルト同時ニ市長トシテ總領事ニ對シ公文ヲ以テ遺憾ノ意ヲ表スル事

三、民國日報社社長ニ於テ直接責任者ヲ嚴罰シ其ノ旨市長ヲ通シ總領事ニ通報スル事

三、本記事標題ノ取消及陳謝ノ記事ヲ掲クル事

北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、南京、福州、廣東
へ轉電セリ

803 昭和7年1月18日 在上海村井總領事より
芳沢外務大臣宛(電報)

付記 一月十六日付民国日報掲載の陳謝声明文
行について

民国日報不敬記事に関する我が方要求条項実

汕頭 発
本省 1月19日後着

第四號

當地漢字紙汕報ハ鮮人爆弾事件ニ關シ

「十日同事件ノ報道ニ當リ「朝鮮革黨擲擲倭皇ノ壯舉」ト題シ「惜シシイ哉之ヲ射チテ當ラス」ト附註シタル上東京電報ヲ掲載シ

二、十二日「朝鮮革命黨李奉昌倭皇ニ彈擲スルノ電ヲ讀ミテ後」ト題スル社論ヲ掲ケ冒頭「朝鮮ノ民族精神消滅シ盡サントシ永久ニ復活ノ一日無キヲ歎セル折柄李奉昌ノ倭皇ニ擲彈セル快聞アリ之ヲ讀ミ一大白ヲ浮フト爲ス（祝杯ヲ舉ケ）」ト述ヘ「李ノ行動ハ國家民族（脫上得ル所淺カラス李死ストモ無數ノ李出現スヘク右ハ他日朝鮮復國ノ先聲トナルヘキハ疑無シ亡國ノ遺族スラ螳臂ヲ振ヒ仇會ニ血ヲ注ケルニ座シテ勇兵廣土ヲ擁シ乍ラ手ヲ束不屠殺ヲ待チ抵抗モ敢テセサルカ如キ者ハ恥チテ死スヘキナリ」ト結論シ居タリ

三、目下市長ハ廣東ニ赴キ不在中ナルカ近ク歸任スヘキトノコトニ付十四日不取敢汕報記者ノ處罰方要求シタルカ其後

未夕歸任セサルヲ以テ十八日本官ハ市政府ニ到リ市長ノ代理人者ニ會見市政府側ノ措置振り訊シタル處何レ市長一兩日中ニ歸來スヘキヲ以テ其歸任後篤ト協議スヘシト述ヘ居タルニ付本官ハ汕報カ滿洲事件以來我方ニ題材ヲ採リテ記事ヲ捏造シ不法ノ惡宣傳ニ努メ田中首相ノ滿蒙積極政策等ノ僞文ヲ連載セルコトアリ其都度口頭及公文ヲ以テ之カ取締方市長ニ要求シ置キタルニモ拘ハラス今日迄何等新聞紙ヲ取締リタル事實ナク前記汕報ノ不敬事件モ素ヨリ同紙力事理ヲ辨ヘス只管我方ニ毒付カントスル不法ヨリ發シタルハ勿論ナルモ斯ル暴論ヲ敢テ致サシメタルハ畢竟市長カ我方屢次ノ要求ヲ無視セル不取締ニ歸スヘキヲ以テ市長モ當然之カ責ヲ負フヘキ筈ナリ何レ公文ヲ以テ改メテ更ニ本件解決事項申入ルヘキ旨申述ヘ置ケリ

四、同日本件解決ニ付(1)元犯ノ處罰(2)汕報ヲ停刊スルコト(3)市長ニ於テモ公文ヲ以テ陳謝スルコト(今後ノ取締及保障ヲ爲スコト)以上四項ヲ申入レタリ本件ハ市長ノ歸任ヲ俟ツテ更ニ折衝スヘキモ右不取敢

支、南京、北平、廣東、福州、廈門ヘ轉電セリ

支ヨリ上海ヘ轉報アリタシ

805 昭和7年1月20日 在広東須磨總領事代理より
芳沢外務大臣宛(電報)

程広東市長がガゼット主筆に不敬記事に關し

警告について

広東 1月20日後発
本省 1月20日後着

第四三號

往電第三〇號往電第四〇號ノ末段ニ關シ

十八日ノ「ガゼット」ハ例ノ通論文ヲモ骨抜ニシ全然「ハームレツス」ナル形ニテ掲載シ十九日以後ハ連載ヲ止メタルモ將來ノ事モアレハ本官廿日程市長ヲ往訪シ本件處置振

ヲ聽取セル處程ハ十三日早速同紙ノ主筆ヲ呼付ケ警告ヲ與シ良ク貴意ヲ諒解シ居ルニ付此ノ際之ニテ勘辨アリ度旨懇請セルニ付本件不穩記事ハ英字紙上ニテ且ツ他地方ノモノトハ餘程趣ヲ異ニスル次第ニモアリ旁本件ハ之ニテ一段落トセルニ付右ニ御含置相成度シ

第五五號

豫テ我方ヨリ提出セル條件全部ヲ容レ吳市長ヨリ廿一日附本官宛公文ヲ以テ民國日報ニ侮辱ノ意思無カリシコトハ取調ヘノ上回答シタル次第ナルカ重ネテ社長ヲ呼出シ嚴重戒告シ將來ヲ誓ハシメ且ツ編輯記者ノ處罰並訂正方ヲ申傳ヘタルニ社長ニ於テ之ヲ諒承シ記者ヲ三ヶ月ノ罰俸ニ處シ訂正並陳謝記事ハ十六日紙上ニ掲載濟ミナル旨申越シタルニ

付御承知アリタク尙市長トシテ深ク遺憾ノ意ヲ表スル旨申

越シタリ之ニ依リ民國日報事件ハ一先ツ解决セル次第ナリ

守屋書記官ニ轉報セリ

廣東ヨリ香港ニ轉電アリタシ

北平、奉天、天津、青島、濟南、南京、漢口、福州、廣東
ヘ轉電セリ

認スルコト

三、編輯ノ直接責任者ヲ即時解雇スルコト

四、新聞ニ緊急取消記事ヲ掲ケ陳謝ノ意ヲ表スルコト

五、新聞社ノ責任ヲ明カニシ且陳謝ノ意ヲ表スル爲停刊スルコト

六、將來同様事件ヲ惹起セサル様各新聞社ニ嚴重注意スルコト

807 昭和7年1月23日 在中國矢野大使館參事官より
芳沢外務大臣宛(電報)

北平農報の韓國獨立黨宣言転載に關し我が要求
条項達成により事態解決とした旨上申

北平 本省 1月23日前着 発

第三四號

十九日ノ北平農報ハ南京特電トシテ大要別電第三五號(省略)ノ韓國獨立黨宣言ヲ掲載セルヲ以テ本官ヨリ即時支那側ニ對シ嚴重ナル注意ヲ喚起シ

一、學良ヨリ文書ヲ以テ鄭重遺憾ノ意ヲ表スルコト

二、同新聞社社長本官ヲ來訪鄭重陳謝シ且文書ヲ以テ之ヲ確

等ヲ要求セル處一及六ニ付テハ別電第三六號(省略)ノ通り學良ヨリ十九日附公文ヲ以テ申出來リ二ハ二十二日社長陳溥賢本官ヲ來訪鄭重陳謝シ且確認ノ文書ヲ提出シ三ハ十九日編輯責任者タル編輯主任孫惜誦ヲ解傭シ四ハ二十日實行濟五ハ二十三日實行ノ旨學良ヨリ文書ヲ以テ確認シ來レリ

本件ハ新聞社自体ノ記事ニ非スシテ他ヨリ轉載セルモノナルモ當方面邦人側ニ激昂ニモ顧ミ以上ノ如キ條件ヲ要求セル次第ナルカ支那側ニテモ既ニ全部容認セルニ付テハ本件ハ右ニテ解決ノコト致度ク右御承認ヲ請フ

尙右解決條項ハ二十二日當地ニテ發表ノ筈

808 昭和7年1月23日 在廣東須磨總領事代理より
芳沢外務大臣宛(電報)

共和報による李奉昌贊美の論稿掲載につき広

東市長に四項目の要求提示について

廣東 本省 1月23日後發 1月24日後着

第五六號

ト當惑セリ

一、廿三日共和報(黨派的色彩無ク發行部數約五千ノ田舎相手ノ小新聞)ハ「勇マシキ哉李奉昌」ト題シ亡國朝鮮熱血男子李ハ「カイゼル」又ハ「ナポレオン」ニモ比スヘキ

日皇ニ對シ壯舉ヲ企テ不幸失敗セルモ此ノ種ノ愛國ノ士

ハ匹夫ヲシテ起タシムヘク又暗殺ニシテ成功セハ世界ノ

某ノ寄稿文(原文郵送)ヲ掲ケ同社ノ計ヒニテカ日本人讀

者ニハ配達セラレサリシ處午後ニ至リ之ヲ發見スルヤ本

官ハ直ニ赴香前ニテ既ニ外出中ナリシ市長ヲ呼ヒ歸サシ

メ面會、此事實ヲ告ケタルニ市長ハ元來共和報ハ人ノ注

意セサル小新聞ニシテ自分ハ今始メテ之ヲ知リタル程ナ

リトテ右記事ヲ一讀シ成程下ラヌ事ヲ書キタルモノナリ

等ヲ要求セル處一及六ニ付テハ別電第三六號(省略)ノ通り學良ヨリ十九日附公文ヲ以テ申出來リ二ハ二十二日社長陳溥賢本官ヲ來訪鄭重陳謝シ且確認ノ文書ヲ提出シ三ハ十九日編輯責任者タル編輯主任孫惜誦ヲ解傭シ四ハ二十日實行濟五ハ二十三日實行ノ旨學良ヨリ文書ヲ以テ確認シ來レリ

本件ハ新聞社自体ノ記事ニ非スシテ他ヨリ轉載セルモノナルモ當方面邦人側ニ激昂ニモ顧ミ以上ノ如キ條件ヲ要求セル次第ナルカ支那側ニテモ既ニ全部容認セルニ付テハ本件ハ右ニテ解決ノコト致度ク右御承認ヲ請フ

尙右解決條項ハ二十二日當地ニテ發表ノ筈

ノ言明

答シ度シト述へ香港へ出發ノ時刻迫レリトテ立上リタルニ付本官ヨリ更ニ上海等ノ急迫ナル事態モアリ兎モ角前記本官申入レノ「ライン」ニテ片付ケ方再應突止メタルモ市長ハ當地ニ於テハ青島、上海ニ於ケルカ如キ事態ハ絶對之ヲ避ケ度キ希望ナルハ勿論ナレト何レ自分ノ歸廣ヲ待タレ度シトテ別レタリ

三、就テハ他地方ノ事態モ重要ナル旨報道セラレツツアル場合ニモアリ本官ヨリ差當リ前項ノ趣旨ヲ申入レタル次第ナルニ付テハ何等御異存モアラハ御訓示相成度ク本官ハ何レ市長ノ歸廣ヲ俟テ右様ノ解決ヲ遂ケ度キ所存ナリ申ス迄モ無キコト乍ラ當地ノ事態ハ諸般ノ點ニ於テ上海、青島等ト全然異ルニ付出來得ル限り強力ニ依ラサル方法ヲ以テ解決ヲ遂ケ度キ内意ナルカ之亦御異存モアラハ御回示相成度シ尙當地居留民ニ於テハ何等越軌行動ニ出ツルカ如キ處ナキ次第二付右御含ミ置キ相成度シ

支ヨリ上海ニ轉報アリ度シ

支、北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、南京、福州、廈門、廈頭ニ轉電シ、香港ニ暗送セリ

セリ

當方ヨリハ更ニ公文ヲ以テ右條件實行方申入ルル豫定

重光公使ニ轉報アリタシ

支、南京、天津、奉天ニ轉電セリ

………

810 昭和7年1月25日 在中國矢野大使館參事官より

芳沢外務大臣宛(電報)

北平リーダー紙の韓國獨立黨宣言掲載問題に
關し張學良に追加要求申入れについて

北 平

本 省 1月25日後着

第四三號

往電第四〇號ニ關シ

協議ノ結果同電ノ三條件ノ外左ノ要求ヲ追加シ二十五日公

文ヲ以テ學良ニ申入レ置ケリ

學良ニ於テ關内各新聞社ニ對シ嚴重ナル取締、布告ヲ發シ

之ヲ新聞ニ掲載セシムルト共ニ不敬事件再發ノ場合ニハ如

何ナル事態發生スルモ其責任ハ學良ニ於テ之ヲ負フヘキ旨

ノ言明

二付本官ヨリ更ニ上海等ノ急迫ナル事態モアリ兎モ角前記本官申入レノ「ライン」ニテ片付ケ方再應突止メタルモ市長ハ當地ニ於テハ青島、上海ニ於ケルカ如キ事態ハ絶對之ヲ避ケ度キ希望ナルハ勿論ナレト何レ自分ノ歸廣ヲ待タレ度シトテ別レタリ

三、就テハ他地方ノ事態モ重要ナル旨報道セラレツツアル場合ニモアリ本官ヨリ差當リ前項ノ趣旨ヲ申入レタル次第ナルニ付テハ何等御異存モアラハ御訓示相成度ク本官ハ何レ市長ノ歸廣ヲ俟テ右様ノ解決ヲ遂ケ度キ所存ナリ申ス迄モ無キコト乍ラ當地ノ事態ハ諸般ノ點ニ於テ上海、青島等ト全然異ルニ付出來得ル限り強力ニ依ラサル方法ヲ以テ解決ヲ遂ケ度キ内意ナルカ之亦御異存モアラハ御回示相成度シ尙當地居留民ニ於テハ何等越軌行動ニ出ツルカ如キ處ナキ次第二付右御含ミ置キ相成度シ

支ヨリ上海ニ轉報アリ度シ

支、北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、南京、福州、廈門、廈頭ニ轉電シ、香港ニ暗送セリ

廿二日北平「リーダー」ハ往電第三五號韓國獨立黨宣言中直接不敬ニ亘ル字句ノミヲ附セヌシテ大部分ヲ記載シ尙翌日同宣言ヲ引用シテ韓國獨立運動ヲ支持獎勵スルカ如キ説ヲ掲ケタルニ付(原文郵送ス)廿三日學良ニ面會シ往電第三四號ノ經緯ニ拘ハラス依然トシテ新聞取締不徹底ニシテ學良ノ誠意ノ認メ難キ次第ヲ最モ嚴重ニ難詰シ左ノ三條件ノ至急實行方要求シ置ケリ

一、學良ノ陳謝
二、「リーダー」ノ廢刊
三、總編輯ヲ今後新聞業ニ關與セシメサルコト

右ニ對シ學良ハ大ニ恐縮シ速ニ何分ノ回答ヲナスヘキ旨約

第五九號(至急)
往電第五六號ニ關シ

一二二十六日程市長ヲ往訪シタルニ同人ハ昨二十五日香港ヨリ歸來シ記念週ヲ終ヘテ早速共和報責任者二名ヲ呼出しシ同ノ不届ナル記事ニ對シ强硬ナル警告ヲ與フルト共ニ將來此ノ種不敬ニ亘ル記事ヲ繰り返ササル様篤ト申聞ケタル一方公安局長ニ對シ早速當地各新聞社長ニモ爲念同様ノ通牒ヲ發シ且其ノ寫シヲ市政府ニ交付方申出萬事貴意ニ副フ様誠意ヲ以テ處置シタルニ付テハ之ニテ勘辯アリタシト申出タルニ對シ本官ヨリ嚴重前記往電(二)所掲ノ四項ニ付切實ニ考慮スルコト必要ナル所以ヲ説示シ其ノ決意ヲ促シタルニ

809 昭和7年1月24日 在中國矢野大使館參事官より
芳沢外務大臣宛(電報)

北平リーダー紙の韓國獨立黨宣言掲載につき

張學良に同紙廃刊を要求について

北 平

本 省 1月24日前着

發

第四〇號

往電第三四號ニ關聯シ

廿二日北平「リーダー」ハ往電第三五號韓國獨立黨宣言中直接不敬ニ亘ル字句ノミヲ附セヌシテ大部分ヲ記載シ尙翌

日同宣言ヲ引用シテ韓國獨立運動ヲ支持獎勵スルカ如キ説ヲ掲ケタルニ付(原文郵送ス)廿三日學良ニ面會シ往電第三四號ノ經緒ニ拘ハラス依然トシテ新聞取締不徹底ニシテ學良ノ誠意ノ認メ難キ次第ヲ最モ嚴重ニ難詰シ左ノ三條件ノ至急實行方要求シ置ケリ

一、學良ノ陳謝
二、「リーダー」ノ廢刊
三、總編輯ヲ今後新聞業ニ關與セシメサルコト

右ニ對シ學良ハ大ニ恐縮シ速ニ何分ノ回答ヲナスヘキ旨約

第五九號(至急)
往電第五六號ニ關シ

一二二十六日程市長ヲ往訪シタルニ同人ハ昨二十五日香港ヨリ歸來シ記念週ヲ終ヘテ早速共和報責任者二名ヲ呼出しシ同ノ不届ナル記事ニ對シ强硬ナル警告ヲ與フルト共ニ將來此ノ種不敬ニ亘ル記事ヲ繰り返ササル様篤ト申聞ケタル一方公安局長ニ對シ早速當地各新聞社長ニモ爲念同様ノ通牒ヲ發シ且其ノ寫シヲ市政府ニ交付方申出萬事貴意ニ副フ様誠意ヲ以テ處置シタルニ付テハ之ニテ勘辯アリタシト申出タルニ對シ本官ヨリ嚴重前記往電(二)所掲ノ四項ニ付切實ニ考慮スルコト必要ナル所以ヲ説示シ其ノ決意ヲ促シタルニ

850

851

同市長ハ廣東ハ他ト全然異ナリ此ノ種事件ノ取扱ヒ振リニ
依リテハ却テ思ハサル結果ヲ招來スヘシトテ彼持前ノ執拗
ニシテ傲慢ナル態度ヲ以テ應酬シタルニ付本官ハ開キ直リ
テ寺尾事件廣東「ガゼット」不敬記事事件等何レモ客年國
民政府時代ヨリノ親密ナル友誼的精神ヲ以テ眞實ニ夫々解
決ニ當リタレハコソ極メテ圓滿ニ結了シ得タル譯ナルニ鑑
ミ本官ハ今回モ右精神ニ信頼シテ始メヨリ極メテ寛大極マ
ル事項ヲ申聞ケ努メテ當方面事態ノ惡化ヲ避ケントシツツ
アル次第ナルカ此ノ苦衷ヲ辨ヘスシテ唯徒ニ之ヲ遮ラント
スルカ如キハ心外ナリト詰リ寄リタルニ同人ノ態度俄然一
變シ實ハ十七日香港ニ於テ胡漢民ト會談ノ節モ今貴官申出
テノ友誼的精神ニ言及シタル譯合ニテ自分等モ偏ニ之ニ依
リテ日華關係ノ改善ニ努メ度キ所存ナリト軟化シ來リ極メ
テ神妙ニ繰返シ自分ハ今次ノ不幸ナル記事ヲ極メテ遺憾ト
スルノミナラス實ノ處自分ハ日本國民同様友邦國ノ元首タ
ル陛下ニ對シ勿論限りナキ敬意ヲ有スル次第ナルカ故ニ
他地方ニ於テ不幸此ノ種記事アリシモ之迄當地ニハ此ノ事
ナカリシヲ喜ヒ居タル矢先キ今回ノ寄稿文ヲ見ルニ至リタ
ルハ重々遺憾ニ堪ヘスト述ヘタルニ付スカサス本官ヨリ然
キ點モアラハ折返シ御同訓相成度シ

支ヨリ上海、南京ニ轉報アリタシ

迄本件ヲ解決スル要モナカルヘシト存セラルニ付テハ明
二十七日更ニ會見(ヲ)重ネテ說得ニ努ムヘキカ先方ノ態度
改マラサルニ於テハ(イ)(ロ)ハノ事項ヲ實行ノ上公文ニテ市長
ヨリ本件ニ關シ其執リタル措置ヲ本官ニ通報セシムルト共
ニ新聞關係者ノ陳謝狀ヲ傳達越サシムル程度ニテ取纏ムル
コト然ルヘシト存セラルニ付テハ右ニ關シ何等心得フヘ
キ點モアラハ折返シ御同訓相成度シ

812 昭和7年1月28日 芳沢外務大臣より
在廣東須磨總領事代理宛(電報)

共和報不敬記事事件に關するべく公文によ

り市長の陳謝を取付けるべき旨訓令

本省 1月28日後9時0分發

第五號(至急)
貴電第五九号ニ閔シ

ラハ前記四項中(イ)ハ既ニ處理済ノ模様故他ノ三項ヲ素直ニ
實行スヘキ旨迫レリ
ニシテ傲慢ナル態度ヲ以テ應酬シタルニ付本官ハ開キ直リ
テ寺尾事件廣東「ガゼット」不敬記事事件等何レモ客年國
民政府時代ヨリノ親密ナル友誼的精神ヲ以テ眞實ニ夫々解
決ニ當リタレハコソ極メテ圓滿ニ結了シ得タル譯ナルニ鑑
ミ本官ハ今回モ右精神ニ信頼シテ始メヨリ極メテ寛大極マ
ル事項ヲ申聞ケ努メテ當方面事態ノ惡化ヲ避ケントシツツ
アル次第ナルカ此ノ苦衷ヲ辨ヘスシテ唯徒ニ之ヲ遮ラント
スルカ如キハ心外ナリト詰リ寄リタルニ同人ノ態度俄然一
變シ實ハ十七日香港ニ於テ胡漢民ト會談ノ節モ今貴官申出
テノ友誼的精神ニ言及シタル譯合ニテ自分等モ偏ニ之ニ依
リテ日華關係ノ改善ニ努メ度キ所存ナリト軟化シ來リ極メ
テ神妙ニ繰返シ自分ハ今次ノ不幸ナル記事ヲ極メテ遺憾ト
スルノミナラス實ノ處自分ハ日本國民同様友邦國ノ元首タ
ル陛下ニ對シ勿論限りナキ敬意ヲ有スル次第ナルカ故ニ
他地方ニ於テ不幸此ノ種記事アリシモ之迄當地ニハ此ノ事
ナカリシヲ喜ヒ居タル矢先キ今回ノ寄稿文ヲ見ルニ至リタ
ルハ重々遺憾ニ堪ヘスト述ヘタルニ付スカサス本官ヨリ然
キ點モアラハ折返シ御同訓相成度シ

三、就テハ御承知ノ通程市長自身カ極メテ顯著ナル排日屋ナ
ルノミナラス往電第五八號ノ通當地西南對外協會等カ陳友
仁ニ依ル國交斷絕案ヲ支持スル旨通電スル等一流ノ強カリ
ヲ表明シツツアル折柄ナル上程自身モ當地ハ對英經濟絕交
當時ノ經緯モアリ福州青島乃至上海等ニ於ケルカ如キ取扱
ヲ受ケンカ結果正ニ憂フヘキモノアリトノ底意ヲ仄カシ居
ル事情モアル一方往電第四七號ノ如ク抗日會風潮切崩ノ見
込モ漸次付キ來ル等サシテ憂フヘキ狀況モナキ次第ナルカ
冒頭往電末段申進ノ通當地ノ特別事情ニ鑑ミ強力ヲ用ヒテ
シタルコトニモアリ市長ヲシテ貴電末段ノ措置ヲ執ラシム
ルト共ニ貴官ヨリ公文ヲ以テ之ヲ了承シ右公文中ニ貴官カ
市長ヲ往訪シタル際市長ヨリ陳謝ヲ受ケタル次第ヲ附記確
認スルコト、シテ折合ヲ付ケラル、様努力アリタシ
支ニ轉電シ支ヨリ上海、南京ニ轉報セシム

813 昭和7年1月28日 在廣東須磨總領事代理より
芳沢外務大臣宛(電報)

共和報不敬記事事件に關し市長より同社の陳謝
状を取次ぐ意味の公文を送付方申出について

広東 1月28日後着
本省 1月29日後着

第六五號(至急)
往電第五九號ニ閔シ

一、二十七日市長ト面會ノ筈ナリシカ先方ニ於テ共和報關係
者ヲ戒告中ナルヤノ報モアリ旁冒頭往電ニ對シ何等御打合
アルヘキ場合ヲモ考へ一日面會ヲ延期シ今二十八日往訪シ
タルニ市長ハ共和報ノ來翰ヲ示シ同關係者ニ對シ貴官御申

出ノ次第ヲ申聞ケタルニ一々此ノ通り平身低頭シ居リ唯取消及陳謝文ノ發表方ニ付テハ規則ニ依リ當地新聞聯合會ニ一應附議スル必要アリト申越シタリト述ヘタルニ付本官ハ右聯合會ニ於テ右様ノ措置方ヲ否決スルカ如キ場合アリテモ市長ハ責任ヲ以テ共和報ニ規定ノ通り措置セシムル覺悟アリヤト突込ミタルニ自分ハ全力ヲ以テ勿論御趣旨ニ添フ様致スヘシト答ヘタリ

三、次テ市長ハ貴官御申出ノ(イ)(ロ)(ハ)各事項ハ之ニテ片附キタル次第故明日中ニ自分ヨリ公文ヲ以テ更ニ共和報ノ陳謝狀ヲ傳達スル所存ニ付之ニテ解決方希望ニ堪ヘスト述ヘ此ノ上自分ノ遺憾ノ意ヲ右公文中ニ表スル様御主張相成ルニ於テハ恐ラク問題ヲ紛糾セシメ從來折角貴方トノ間ニ繼續シ來リタル友好關係ヲ破壊セシメ遂ニ他地方ト選ハサルニ至ルヘク且ツ南京政府ハ御承知ノ通ノ始末ナル上當省ニハ今尙主席ヲ欠ク狀態ナレハ過去半歲以上ニ亘リ彈壓セラレ來リタル民衆ハ漸ク當方面當局ノ弱味ニ附ケ込ミ何カ仕出カサント氣構ヘ居リ實ハ數日中ニ困難ノ永漢馬路若ハ其レ以上ノ事態發生スル事無キヲ保セサル實狀ナレハ徒ニ民衆ニ左右セラルル新聞界ニ對シ此ノ上ノ措置ヲ執ルモ却テ貴官

府ハ極メテ慎重ナル考慮ヲ以テ之ニ當ルヲ要スルニ付二十日所屬各機關ニ對シ爾今外交文獻ニ關スルモノハ先ツ市長ニ送付シ其校閱ヲ經テ初メテ發出シ得ヘキ旨ヲ通令シタル旨報道セシメ居リシカ右ハ勿論將來此種不祥案件ヲ繰返ササル用意ニ出テタル措置トモ察セラル旁冒頭往電末段ノ通ノ次第トナリタル次第二付之ニテ取纏メ置クコト然ルヘシト思考セラルルニ付テハ何レ公文接到ノ上何等變化モアラハ報告申進スルモ本件ニ關シ御異存ノ次第モ有之節ハ至急御回訓相成度シ

支ヨリ上海、南京へ轉報アリタシ

支、北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、廈門、汕頭へ轉電シ福州、香港へ暗送セリ

共和報不敬記事事件の交渉終了について

814 昭和7年2月1日 在広東須磨總領事代理より
芳沢外務大臣宛(電報)

広 東 2月1日後発
本 省 2月2日後着

豫想以外ノ反日氣勢ヲ煽ル結果トモナルヘキノミナラス自分等當局ノ地位ハ危殆ニ瀕スル事トモナルヘシト何時モノ傲慢ナル態度ニ似ス縷々哀願スル所アリタリ

三、本官ヨリ事情ハ一應尤モナルモ今次不敬事件ハ帝國國民ノ感情ニ取り重大ナル案件ニシテ既ニ之カ爲各地方ニ容易ナラサル事態惹起セラレ居ルモ何トカシテ事ヲ荒立テス穩便ニ解決シタケレハコソ本官自ラ足ヲ踏ミテ考慮ヲ促シ居ル次第ニ非スマト約一時間ニ亘リ或ハ賺シ或ハ聲ヲ勵マシ百方說得ニ努メタル處市長ハ自分ハ此ノ通り衷心遺憾ヲ表シ所有措置ヲ執リタル次第ナレハ自分ノ苦境ヲモ察シ旁之ニテ貴官ノ御要求ハ實質上満足セラルヘキコト疑ナケレハ勘辯アリタシト申出テ居ル中數百ノ學生團市政二押寄セ

對日問題ニ關シ質問シタシトテ市長ニ面會ヲ迫リタルニ付本官ヨリ然ラハ兎モ角明日中ニ貴方ニ於テ本件ニ關シ執リタル措置ヲ舉ケ且ツ新聞紙側ノ陳謝狀ヲ取次ク意味ノ公文ヲ送ルヘキ様申聞ケ本官ニ於テ何レ之ヲ篤ト閱讀ノ上更ニ何分ノ通報ヲ爲スヘシト告ケ先方之ヲ承諾シテ別レタリ四一方市長ハ事實餘程事件ノ重大性ヲ痛感シテカ昨二十七日各漢字紙ニ對シ目下外交上重大ナル時機ナルニ鑑ミ市政

冒頭往電(ノ通)轉電暗送セリ

公使ヨリ上海、南京へ轉報アリタシ

在廣東須磨總領事代理より
芳沢外務大臣宛(電報)

昭和7年2月2日

廣東市長が共和報不敬記事事件の解決を發表

について

廣東 2月2日後発
本省 2月4日後着

第八七號

往電第八二號末段ニ關シ

一、一日市政府ヨリ我方要求(ノ)ニ對スル共和報ヨリノ回答文ヲ送付越シタルニ付一日本官ヨリ公文ヲ以テ貴電第五號ノ御趣旨ニ基キ市長ヨリ口頭ヲ以テ繰返シ遺憾ノ意ヲ表シタル事ヲ明記シ更ニ我方ノ要求ヲ今後トモ切實ニ履行方申入タリ

二、尙市長ハ二月二日ノ漢字紙ニ談話ノ形式ニテ廣東「ガゼット」及共和報ノ不敬記事掲載事件ニ關スル日本總領事ヨリノ提出條件ハ自分ニ於テ熟慮ノ結果法理ニ基キ詳細了解

第八八號

往電第四〇號及第四三號「リーダー」不敬事件ニ關シ
當方ノ要求條項ハ

北平 2月19日後着
別電 二月十九日着在中国矢野大使館參事官より芳

澤外務大臣宛第八九號
右問題に関する張學良陳謝文について

北平 2月19日後着
別電 二月十九日着在中国矢野大使館參事官より芳澤外務大臣宛第八九號
右問題に関する張學良陳謝文について

北平リーダー紙の韓國獨立黨宣言掲載問題に

關於張學良との交渉振りについて

別電 二月十九日着在中国矢野大使館參事官より芳澤外務大臣宛第八九號
右問題に関する張學良陳謝文について

北平 2月19日後着
別電 二月十九日着在中国矢野大使館參事官より芳澤外務大臣宛第八九號
右問題に関する張學良陳謝文について

ヲ遂ケ雙方圓滿ナル解決ヲ見タレハ日本ヨリ武力ヲ以テ當方面ニ迫ルカ如キ事絶対ナキニ付市民ハ業ニ安ンスヘキ旨

一齊ニ發表シ居レリ

公使、北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、廈門、汕頭へ轉電セリ

昭和7年2月19日 在中國矢野大使館參事官より芳澤外務大臣宛(電報)

廣東市長が共和報不敬記事事件の解決を發表

(別電)

北平 発
本省 2月19日後着

第八九號

(一)二月二十九日附學良ノ來翰大要

本月二十五日附貴翰拜承北平晨報事件發生後各新聞社ニ對シ爾後記事登載ニ付テハ特ニ注意ヲ加ヘ格別慎重ニスヘキ旨嚴通シ置ケル處北平導報ハ外字新聞ニシテ報界公會ニ加入シ居ラサリシ爲遺漏セル結果再ヒ此ノ種事件發生スルニ至リ誠ニ遺憾ニ堪エヌ茲ニ貴參事官ニ向ヒ深甚ナル陳謝ノ意ヲ表ス北平導報ハ既ニ廢刊セシメ總編輯李炳瑞ニ對シテハ退職並北平退去ヲ強制實行セリ又嚴重取締ノ布告發布ノ件ニ付テハ既ニ該主管機關ニ飭令シテ切實辦理セシメ置ケリ云々

(二)二月三十一日各紙掲載ノ市政府訓令大要

本市新聞紙中友邦元首ニ對シ往々措辭失當ノ點アリ右ハ邦交ヲ慎重強固ニシ睦誼ヲ敦厚ニスル所以ニ非サルニ付當然登載ヲ慎重ニシ毫モ輕躁アルヲ許サス右嚴ニ遵守方公安局ヲシテ各新聞社ニ轉飭セシム

817 昭和7年3月1日 在廣東須磨總領事代理より
芳沢外務大臣宛

共和報不敬記事事件の解決方について

機密公合第二六七號

(接受月日不明)

昭和七年三月一日

在廣東

總領事代理 須磨 彌吉郎

外務大臣 芳澤 謙吉殿

共和報不敬記事掲載三關スル謝罪文登載方ノ件

本件ニ關シテハ二月三日附機密公第一五九號拙信ヲ以テ顛末報告ノ次第アリタル處我方要求條件(イ)ニ付テハ冒頭拙信別添乙號ノ通り新聞社總會ノ議決ニ依ル趣ニテ埒アカサルモ廣州市長程天固ハ最善ヲ盡ス旨言明ノ次第有之タルヲ以テ過般館員ヲシテ市政府側ノ注意ヲ喚起セシメタル外二月二十九日本官電話ニテ程ト會談ノ際念フ押シタル處程ハ右新聞社ノ總會ハ二ヶ月ニ一回ナルヲ以テ未タ決定ヲ見サル次第ナルヘシト回答セルカ本件謝罪文ノ登載ニ關シテハ機會アル毎ニ當局ノ注意ヲ喚起スルコト勿論ナルモ時局重大

ナル折柄御訓令ノ趣旨ヲモ體シ且ツハ事實同社ヨリ市長ニ對シテハ陳謝文ヲ寄セ居ルコト冒頭往信ニ詳報ノ通リナルニ付成ルヘク此ノ儘事ヲ荒立テサル様見送ルコト致スヘキニ付右ニ御含ミ置キ相成度シ

本信寫送付先 在華公使、汕頭

818 昭和7年4月6日 在廣東須磨總領事代理より
芳沢外務大臣宛(電報)

新聞報の不敬記事に關し廣東市長に陳謝およ

び处罚等要求について

廣 東 4月6日後發
本 省 4月7日前着

第二五七號

六日新聞報ハ「日倭皇室ノ醜劇」ト題シ別電第一五八號(省略)通り不届至極ナル記事ヲ掲ケタルヲ以テ早速劉市長ヲ往訪左ノ通り會談セリ
一、先般共和報不敬事件ノ解決モ全部完了ニ至ラス又其際公安局長ヨリ全市各新聞社ニ對シ嚴達アリタルニモ拘ラス今回又懲性モ無ク此ノ種ノ記事ヲ見タルハ甚タ遺憾ナリ

ト前提シ而モ共和報ノ場合ハ李奉昌事件ニ藉口シテ中國民心ノ頑廢ヲ語ル意味ヲモ含ミタル投書ナリシカ今同ハ真正面ヨリ大正天皇ニ對スル途方モ無キ虛説ヲ掲ケ我カ皇室ニ對シ嘗テ見サル不敬ヲ敢テシタルト共ニ日本民族ニ對シテモ絶大ナル侮辱ヲ加ヘタルモノト言フ可ク且中國ノ先覺ヲ以テ任スル廣東新聞ニ新聞社自体ノ記事トシテ掲ケラレタルカ如キハ言語同斷ナリ

二、從テ問題ノ新聞報カ小新聞ナリトカ購讀者多カラス(四百部ノ見込)トカノ理由ニ依リ是ヲ輕視スル事能ハス日本政府トシテモ由々數不祥事件トシテ重要視スヘク又國民ノ對支感情ニ對シテモ場合ニ依リテハ重大ナル衝動ヲモ與ヘ得ヘキカ故ニ此際市長ニ於テ卒直ニ且迅速ニ左記事項ニ依リ本件解決ノ誠意ヲ示スニ於テハ本官ニ於テ政府其他ノ激昂緩和方取計フヘシト述ヘ次項ノ如キロ上書ヲ手交セリ

三、(イ)市長ハ公文書ヲ以テ陳謝ノ意ヲ表スル事

(ロ)新聞報ノ責任者ヲ處罰スル事

(ハ)新聞報ハ謝罪文ヲ掲載スルコト

(二)右掲載ノ上ハ同報ニ對シ相當ノ期間ノ停刊ヲ命スル事

公使、北平、奉天、天津、青島、福州、廈門、汕頭、南京
へ轉電シ香港へ暗送セリ

公使ヨリ上海へ轉報アリタシ

819 昭和7年4月7日 在廣東須磨總領事代理より
芳沢外務大臣宛(電報)

新聞報不敬記事事件解決交渉には海軍力によ
る威圧も必要の旨意見具申

廣東 4月7日後発
本省 4月7日後着

第二五九號

往電第二五七號二關シ

新聞報ノ記事ハ如何ニモ不届ナルモ前記往電三ノロ上書ノ趣旨ニ依ル外解決困難ト認メ本官限リニテ之ヲ提示シタル次第二付右ニ御承認アリタク又右趣旨丈ヶハ飽ク迄貫徹シタキ積リナル處本記事ノ由來ニ關スル情報ヲ綜合スルニ「元來其構文等ヨリ見テ不逞鮮人ノ手ニ成リタルカノ節モアル一方元來新聞報社長李家英ハ李濟琛^(孫)私淑スル所謂「ステツキ」派ノ人物ニシテ陳濟棠勢力ノ倒壊ニ對シ暗ニ策策ヲ廻ラシツツアルノミナラス近來李濟琛^(孫)ヨリノ補助費續カス發行部數モ五千ヨリ四百ニ墜落シ到底立チ行カサルニ至レル爲此際閉鎖ニ好題目ヲ見付ケ兼ネテ外交

公使ヨリ南京、上海へ轉報ヲ請フ

問題ヲ捏上ケテ濟棠勢力顛覆ノ一助トモ爲サントスル下心ヨリ仕組ミタル芝居ナリヤノ消息アリ

二、一方前市長程天固ハ御承知ノ通り中々腹黒キ遣手ニテ劉紀文就職以來機會アル毎ニ自分市長時代ノ功績ヲ宣傳シ居ル關係モアリ或ハ程カ劉紀文追出ノ爲策動シ居ルニ非スヤトノ觀測モアリ

三、何レニスルモ六日劉紀文ト會談ノ印象ニ依ルモ何等力所謂反動派ノ策動モアルヤニテ旁本件解決ハ手取早クハ運ハサルヤモ計り難キ處他方同シク六日ノ黨部機關紙タル

廣州日報ハ本官カ本國政府ニ建議シ廣東金融攪亂ノ策動ニ從事シ居レリトカ、范其務カ近ク歸廣シテ十九路軍ノ爲新募兵ヲ集メ永久抗日ノ手筈ヲ執ルヘシトカ、上海ニ於ケル停戰協議ノ模様如何ニ依リテハ十九路軍ノ出身地丈ケニ果然對日輿論硬化ノ結果ヲ見ルコトモアルヘキカ故ニ本件ハ勿論段々ノ御訓令ニ從ヒ平和的折衝ニ依リ取纏メタキ所存ナルモ場合ニ依リテハ以上ノ形勢ニ鑑ミ幾分海軍力等ニ依ル威壓ヲ加フルコト或ハ必要トナルヘキヤニモ存セラルルニ付右豫メ御含置相成度シ

公使、北平、奉天、天津、濟南、青島、漢口、福州、廈門、汕頭へ轉電シ、香港へ暗送セリ

820

昭和7年4月10日

芳沢外務大臣より
在廣東須磨總領事代理宛(電報)

新聞報不敬記事事件は重大事につき迅速かつ

慎重に処置方訓令

本省 4月10日後5時30分発

第二〇號(極秘)
貴電第二五七號二關シ

本件ハ先般來各地ニ頻發セル不敬記事々件中情狀最モ重ク其落著セサル間ニ記事ノ内容日本内地方面ニ傳ハルコトアリテハ容易ナラヌ問題ヲ起ス虞アルニ付貴電第二五九號ノ如キ内政上ノ裏面策動ニ捲込マル、カ如キコト無キ様充分用心ノ上出来得ル限り迅速ニ解決スル様精々御尽力アリ度シ尤モ貴地ノ実情上並大抵ノコトニテハ容易ニ目的ヲ達シ難カルヘキハ諒察シ居ルモ之カ為海軍力ヲ以テ威壓ヲ加フルコトハ諸般ノ考慮上餘程ノ考物ニテ若シ威壓ヲ加フルモ猶肯カサル場合ニハ自衛行動ヲ決心セサル限り引込付カサ

ル破目ニ陥ルヘクスカル結果ヲ見ルコトハ滿洲問題及上海問題ヲ控フル今日大局上最モ望マシカラサルハ申ス迨モ無キ所ナルヲ以テ結局此場合ニハ生温キ嫌アルモ矢張リ御来示ノ条件ニテ現市長対手ニ何處迄モ手ヲ緩メス攻メ立ツルノ外途無キモノト認ムルニ付本件ノ如キ類例無キ不敬記事カ日本國民ニ與フヘキ衝動ノ極メテ大ナルヘキコト並日本政府トシテモ最大ノ関心ヲ以テ成行ヲ注視中ニシテ支那側カ我要求ヲ容レサル場合事柄ノ性質上到底不問ニ附シ難キ立場ニ在ル次第ヲ懇々説示セラレ時局柄支那側ノ為メニ圖ルモ市長カ萬難ヲ排シテ本件ノ至急解決ヲ決意スルコト最モ肝要ナリトノ趣旨ヲ以テ根強ク交渉ヲ續ケラレ目的貫徹方此上共銳意御努力アリ度

尚本件ハ前記ノ如ク頗ル機微ナル問題ナルヲ以テ貴地在留邦人新聞通信員ハ勿論一般居留民ニ対シ内地又ハ植民地方ニ対シ如何ナル形式ニ於テモ本件記事ノ内容ヲ流布スルカ如キコト無キ様嚴重御手配アリ度為念

貴電ノ通轉電セリ
香港ニ暗送アリ度

821 昭和7年4月12日 在廣東須磨總領事代理より
芳沢外務大臣宛(電報)

新聞報不敬記事に關し廣東市長に我が解決条
件履行方嚴重警告について

廣東 4月12日後発
本省 4月12日後着

往電第一七三號二關シ
第二七六號

一、十二日劉紀文答禮ノ意ヲ以テ本官ヲ來訪セルヲ捕マヘ新聞報ノ不敬記事掲載事件ニ關スル當方ノ要求ヲ考慮セリヤト試問セル處劉ハ本件ニ關スル深甚ナル遺憾ノ意ヲ表シタル後、實ハ新聞報ハ十日以來停刊トナリ居レハ貴方ノ御要求中(口)以下(往電第二五七號ノ三參照)ノ各項ハ事實上解決シタル譯ニテ(イ)ニ關シテハ既ニ口頭ヲ以テ陳謝致シ居ル次第ナレハ勘辨アリタシト語リタリ

二、依テ本官ハ新聞報ノ停刊ハ命令ニ依ルモノナリヤト借問セル處劉ハ當方ヨリ手續キヲトリテ停刊セシメタル次第ナリト稱シテ多クヲ語ラサリシカ本官ハ開キ直リ日本ノ事情ニ精通セル貴市長ヨリ斯ク不眞面目ナル言ヲ聞クハ

三、依テ本官ハ新聞報ノ停刊ハ命令ニ依ルモノナリヤト借問セル處劉ハ當方ヨリ手續キヲトリテ停刊セシメタル次第ナリト稱シテ多クヲ語ラサリシカ本官ハ開キ直リ日本ノ事情ニ精通セル貴市長ヨリ斯ク不眞面目ナル言ヲ聞クハ

本省 4月20日後9時50分發

第五號

貴電第二九七號二關シ

我方ノ申入レノ條件四ヶ條ハ事件ノ情狀ニ照ラシ是レ迄解決ヲ見タル他地方ノ同種事件ニ於ケル條件ニ比シ寧ロ寛大ニ過クルノ感アリタル位ナルモ貴地特殊ノ事情ヲモ考量シ

劉市長カ内政上甚シキ窮地ニ陷ルコトナクシテ應シ得ヘキ最低限度ノ要求トシテ御來示ノ儘提出方ヲ承認シタル次第ニシテ從ツテ右四ヶ條ハ此際絕對ニ讓歩ノ餘地無ク此程度ノ條件スラ應諾ラ躊躇シ居ル様ニテハ市長ノ誠意ハ全然之ヲ認ムルニ由無キモノト認ムルノ外無キニ至ルヘキ處支那側ノ立場ヨリ見ルモ本件交渉ノ經過ハ我方トシテ固ヨリ公表スルノ意思無ク先方ノ加減一ツニテ(口)及(口)ニ二條件モ甚シク大ナル困難無クシテ内密ニ實行シ得ヘキモノト思考スルニ付テハ勿論御如才トテハ無キ儀ナルモ先方カ例ノ立場論ヲ以テ彼此逃ヲ張リ居ルニ乘セラルルカ如キコトナキ様充分御用心ノ上貴電第二九四號(口)ノ方針ヲ持續シ此上トモ根強ク市長ニ嚴談ヲ試ミラレ度

關係電報ノ通轉電セリ

誠ニ心外ナリト前置シテ本件ノ重大性ヲ各方面ヨリ説明シ市長ノ非友誼的態度ハ廳テ日支間ニ重大ナル影響ヲ齎ラス所以ヲ警告シタル處劉ハ辭ニ窮シ本日ハ答禮ノ爲ニ來訪セル次第ナレハ歸宅後更ニ深甚ナル考慮ヲ拂ヒ御回答申上クヘシトテ引揚ケタリ

三、其ノ際ノ印象ニ依レハ劉ハ例ノ支那人一流ノ根性ニテ我方條件ヲ值切ラントスル魂膽ナリヤノ模様ナリシヲ以テ前記ノ如ク其ノ非常識ヲ責メ大聲疾呼警告ヲ與ヘタル次第ニ尙劉ニ對シ新聞報ノ責任者ヨリ本官ニ對シ誠實ナル謝行シ難キニ付新聞報ノ責任者ヨリ本官ニ對シ誠實ナル謝罪文ヲ交付スルコトニ改メ他ノ條項ト共ニ誠實且敏速ニ履行スルコト肝要ナリト申聞置タリ

轉電暗送先冒頭往電ノ通

公使ヨリ上海、南京へ轉報アリタシ

822 昭和7年4月20日 芳沢外務大臣より
在廣東須磨總領事代理宛(電報)

新聞報不敬記事に關し市長に重ねて嚴重申入
れ方訓令

823 昭和7年4月20日 在廣東須磨總領事代理より
芳沢外務大臣宛(電報)

新聞報不敬記事に關する市長の回答は不満足
だが早期円満解決が得策である旨意見具申

別電 四月二十日發在廣東須磨總領事代理より芳沢
外務大臣宛第三〇四號

右市長回答について

廣東 4月20日後発

本省 4月21日前着

往電第二九四號二關シ

一、二十日市政府秘書伍伯勝來訪往電第一八二號ノ當方公文

ニ關スル市長代理劉紀文ヨリノ回答公文(別電第三〇四號)ヲ持參セルニ付熟讀セル後本官ヨリ(イ)及(口)ニ關シテハ我方要求通り解決セラレタルモ(口)ニ關シテハ尙不満足ナル意ヲ表示シタル處伍ハ新聞報ハ既ニ無期停刊トナリ實際上解散ト同様ノ結末ナレハ此ノ上右(口)ニ關スル御要

求ハ實行不可能ナルニ付之ニテ御寛恕相願度シト懇願セリ

三、依テ本官ハ夫レニシテモ社長ヨリ本官宛ニ文書ヲ以テ遺憾ノ意思ヲ表示セシムヘシトノ主張ヲ繰返シタル處伍ハ社長李家英ハ目下雲隠レノ實情ニモアリ又既ニ法ニ照シテ當局ニ於テ責任者ヲ重ク處罰スルコトトナリ居ルニ付市長ノ遺憾ノ意思表示ニ免シ御勘辨相成度シト頗ル繰返セルニ付此ノ上頑強ニ主張スルトモ如何カト存シ殊ニハ十日以來既ニ同報ハ閉鎖同様ノ停刊トナリ居リ理論上謝罪文掲載ハ不可能ナル筋合ニモアリ結局我方公文所載ノ要求モ大體容レラレ居ル譯合ナルヲ以テ此ノ際今後此ノ種不敬記事掲載防遏ニ關シ先方ノ方針ヲ更ニ確メ置ク方有利ト存シ話頭ヲ轉シ往電第二九七號ノ社會局公安局市黨部ノ混合委員會ニ於ケル新聞檢閱ニ付問質セル處伍ハ實ハ極秘ナルカ內政上ノ立場モアリ隱密ニ右委員會ノ檢閱審查ヲ實施中ナル外公安局ニ於テモ職掌柄今後特ニ新聞報道ヲ嚴重取締ル方針ナリト内話セリ

三、依テ更ニ責任者處罰ノ結果ヲ通報スヘキ様念ヲ押シ(先方之ヲ承諾セリ)タル後本官ヨリ一應右回答公文ニ關シ

(別電)

廣 東 4月20日後発
本 省 4月21日前着

824 昭和7年4月22日 芳沢外務大臣より
在廣東須磨總領事代理宛(電報)

新聞報不敬事件交渉に關し市長の回答は不満
足につき修正要求方訓令

本 省 4月22日後5時30分発

第三〇四號(至急)

四月十四日附貴翰ヲ以テ四月六日新聞報カ無禮ナル記事ヲ掲載セル趣ヲ以テ四項ノ辦法ニテ解決方申出アリタル處(イ)ニ付テハ査スルニ該新聞社ハ當地政府トハ無關係ナレハ

政府ハ其記事ニ對シ當然無責任ニテ自然本市長ハ陳謝ノ由無キモ惟フニ同紙ノ發行少ク注意スルモノ從テ無シトハ謂ヘ貴國ノ故元首ニ對スル無禮ナル文字ノ發現セラレタルハ本市長ノ深ク惋惜トスル處ナリ

貴電第三〇三號ニ關シ
本件交渉ノ困難ナルヘキ事情ハ當方ニ於テモ諒察ニ難カラス之迄ニ漕キ著ケラレタル貴官ノ御努力ハ深ク多トスル所ナルモ貴電第三〇四號ノ先方公文ノ調子ハ如何ニモ其場逃レナルカ如キ感觸ヲ與ヘ累次往電ニテ御了解ノ通ナル政府ノ立場ニ鑑ミ相當不滿足ナル箇所アリト認ムルニ付先方ノ立場モ去ルコト乍ラ更ニ左記各項ヲ實行セシムルコトヲ最低限度トシテ折合フコトト致シ度右ハ先方ニ對シ甚シキ難事ヲ強フルコトモ思ハレス事件ノ性質ノ重大ナルニ照ラシ寧ロ當然過キル位ノ要求ト認ムルニ付之カ應諾方再照交渉アリタシ

公使、北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、南京、福州、廈門、汕頭へ轉電シ香港へ暗送セリ

テハ何レ本國政府ニ報告ノ上何分申上クヘシト告ケ本件公文ノ內容等發表嚴禁方ヲ申入レ先方ノ同意ヲ得置キタリ

四、就テハ御承知ノ通り當方面ハ事實上今尙嚴然タル獨立政權ノ立前ニテ行動シ居リ自然其ノ對日感情ハ他地方トハ著シク異リ殊ニ所謂胡漢民派ト陳濟棠等ノ實力派トノ對峙深刻ヲ加ヘ内面甚タシク機微ナル關係ニアルコト既電ノ通りナル此際劉トシテモ內政上ノ立場ヨリ之以上出來サル破目ニアリ當方モ今同ハ相當強ク出テ又劉モ日本ニ了解アリトハ言ヘ寧ロ劉トシテハ能ク茲迄思ヒ切り速急措置シタリトサヘ思料セラルル次第ナリ去レハ此ノ上突込ミテ攻メ立ツルニハ當地ノ實情ヨリ見テ實力行使以外方法ナキ事御承知ノ通ナルカ右ハ勿論御訓令ノ趣旨ニ悖ル次第ナルニ付此ノ邊ニテ圓滿解決スル事得策ナルヤニ存セラル何等御異存モアラハ折返シ御回訓ヲ請フ公使ヨリ上海ヘ電報アリ度シ、關係電報ノ通り轉電暗送ス(轉カ)

(イ)「當地政府トハ無關係ナレハ」云々ハ甚々不當且無責任ナル言ヒ分ニテ此字句アル爲市長折角ノ陳謝モ誠意カ薄クナル憾アルニ付「當地」ヨリ「惟フニ同紙ノ」迄ヲ削除シ「貴國ノ故元首」ノ前ニ「本市政府ノ管下ニ在ル弊國新聞紙ニ於テ」ヲ挿入セシメラレ度

(ロ)二付テハ冒頭貴電(三)ノ通先方ニ於テ承諾濟ノ次第モアリ「審理ノ結果ハ直ニ貴官ニ通報スヘキ」旨ヲ附記セシムルヲ要ス尤モ本件公文ニ記載スルヲ困難トスルニ於テハ別ノ書キ物トスルモ苦シカラズ

(ハ)新聞報ハ停刊中ナリトハ云ヒ乍ラ自發的停刊ニシテ何等懲罰又ハ謹慎ノ意味無キニ顧ミ何時復刊シテ又々不逞ノ言動ヲ繰返サストモ保障シ難キヲ以テ責任者ノ謝罪ノ實行シ得ラレサル今トナリテハ此點ニ付念ヲ押シ置クノ必要アリト認ムルニ付「今後管下ノ新聞記事ヲ取締り同様ノ不始末ヲ繰返ササル様充分手配スヘキ」趣旨ノ意思表示ヲナサシムルコトヲ要ス但シ冒頭貴電(二)伍秘書ノ内話ニモ照ラシ公文中ニ併記スルヲ困難トスルニ於テハ之レ亦別ノ書面ニ讓ルモ可ナリ

冒頭貴電ノ通轉電セリ

稟シタル次第ナリ

三、然ルニ右拙電ニ對シテハ貴電第二〇號御來訓ノ次第モアリ平和的解決ノ爲當方面土地柄上特ニ内政上ノ渦巻ヲ避ケツツ本官トシテハ實ニ容易ナラサル苦心ノ下ニ劉ヲシテ兎毛角モ記事ノ重要性ヲ認メシメタルカ何分ニモ吳秘書ナル曲者萬事^(采カ)采配ヲ振り居ル爲共和報事件解決ノ故智ニ倣ヒ公文ノ發送ヲスラ避ケントスル氣配アリシニ付實ハ百方手ヲ廻シ根強ク或ハ嚇シ或ハ宥メテ漸ク公文ニ依ル陳謝迄漕付ケタルモ更ニ責任者(處)罰ノ點等ニ付頑トシテ當方ノ要求ニ應セサリシニ付本官カ當地國民政府時代ニ劉ニ對シテ計リタル便宜等ヲモ利用シツツ支那人一派ノ手ニテ逃ヶテ張ルヲ追ヒ詰メ且ハ一段ノ「ブレシユアーネ」ヲ加ヘタル結果漸ク往電第三〇四號ノ公文ヲ齋シタル始末ナリ

三⁽²⁾上海停戰交渉ノ經緯將又江西共產黨ノ猖獗等ニ伴ヒ當地政局ノ將來誠ニ逆睹スヘカラサル機微ヲ加ヘ現ニ劉紀文ニ代リ區芳甫市長タルヘシトノ說公然流布セラルニ至リタル今日此ノ上何等カ力ヲ用フレハ格別劉ニ於テ此ノ儘公文書替ニ應スルカ如キハ先々絶望ナルヤニ懸念セ

香港へ暗送アリタシ

825 昭和7年4月26日

在広東須磨總領事代理より
芳沢外務大臣宛(電報)

新聞報不敬記事交渉は劉市長の立場にも鑑み同市長回答に基づく解決を妥当とする旨意見具申

広 東 4月26日後発

本 省 4月27日前着

往電第三二四號ニ關シ
第三二五號(至急極秘)

一、本件發生スルヤ本官ニ於テハ問題タル記事ノ如何ニモ重要ナルニ鑑ミ強ク責任ヲ問フノ必要アルヲ感知シタル一方胡漢民派ヲ代表シ西南委員會ニ立籠リ居タル劉紀文カ市長就任ノ間際ナル上同委員會カ反蔣的色彩ヲ帶ヒ自然十九路軍トモ鈔カラサル關係アル點ヨリ殊ニ陳濟棠派カ劉ヲ押シ除ケントシテ種々策動中ナリシ折柄トテ市長ハ或ハ捨鉢的ニ本件ヲ葬リ去ラントスル等ノ處モアリ旁交渉相當多難ナルヘキヲ思ヒ往電第二五九號末段ヲ以テ或ハ海軍力等ニ依ル威壓ヲ必要トスルコトモアルヘキ旨電

公使、北平、奉天、南京へ轉電セリ

公使ヨリ上海へ轉報アリ度シ

826 昭和7年4月30日

芳沢外務大臣より
在広東須磨總領事代理宛(電報)

新聞報不敬事件に關し市側の措置を記載した當方よりの公文送付をもつて解決とすべき旨訓令

本省 4月30日後11時0分發

貴電第三二五號ニ關シ
第三〇號(極秘)

御承知ノ通り本件ハ普通ノ交渉案件ト全然類ヲ異ニシ我政府トシテハ既定ノ方針ヲ濫リニ緩和シ得サル立場ニ在リ支那側ノ内政上ノ立場モ去ルコト乍ラ其ノ一時遁レノ不誠意ナル態度ハ當方トシテ甚タ不満足ニ感スル所ニシテ隨分無理トハ存シ乍ラモ往電第二六號ノ方針貫徹方ニ付更ニ一段號ノ經緯ヲ引掛け三伍朝樞アタリノ内面的盡力ヲ求ムルノ餘地無キヤ)劉紀文ノ立場ニシテ御來示ノ如ク甚シク不安定ナルモノトセハ無下ニ之ヲ攻メ立テ若シ交渉結果著前ニ彼ノ失脚ヲ見ルカ如キコトアリテハ後任者トノ交渉ハ殆ント

問題トナラサルヘク從テ事件ハ懸案トシテ永ク殘サル形トナリ却テ面白カラス就テハ貴官ニ於テ有ラユル方面ヨリ今一應ノ最後的努力ヲ拂ハレタル上夫レニテモ奏效ノ望ミ無キ場合ニハ已ムヲ得サルニ付我方獨リ極メノ嫌ハアルモ貴官ヨリ劉市長ニ宛テ貴電第三〇四號先方公文受領ノ次第ヲ「アクナレッジ」シタル上市長カ其ノ管下ニ友邦皇室ニ對スル空前ノ不敬記事々件ノ發生シタルヲ深ク遺憾トシ鄭重陳謝ノ意ヲ表明シタルコトヲ諒承シ右回答及爾後ノ折衝ニ於テ市政府トシテハ本來同新聞社責任者ヲシテ謝罪セシムル外相當期間ノ停刊ニ處スヘキ所ナルモ同紙カ既ニ無期停刊トナリ居ル今日之力辦理ノ由無キニ付責任者ハ出來得ル限り速ニ之ヲ逮捕シ成規ニ依リ處斷シ其結果ヲ遲滯無ク貴官ニ通報スルト共ニ今後管下ノ新聞紙ヲシテ同様ノ不始末ヲ繰返サシマルコト絶對無キ様剝切有效ナル取締ヲ加フルノ用意アリ且之ヲ實行スルノ誠意ヲ有スルコトヲ確認シタルヲ以テ右支那側當局ノ誠意ヲ諒トシ之ヲ以テ本件ヲ解決ト爲スヘキ趣旨ノ公文ヲ送付セラレ之ニ依リ一應本件ヲ打切ルコトニ取計ハルル様致シ度
貴電通轉電セリ

827 昭和7年5月23日 在広東須磨總領事代理より
芳沢外務大臣宛(電報)

不敬記事を掲載した香港華強日報号外の散布について

第五九九號(三九九)

廿日當地ニ於テ撒布セラレタル香港華強日報ノ號外ハ十八日東京「ルーター」通信トシテ同日天皇陛下ハ宮中ニ於テ一朝鮮人ノ爲狙擊セラレ御重態ニ亘ラセラルモ發表差止メラレ居ル旨ノ途方モナキ報道ヲ掲載シ居レリ
支、北平、南京へ轉電シ香港へ暗送セリ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

~~~~~

828 昭和7年5月24日 在広東須磨總領事代理より  
芳沢外務大臣宛(電報)

我が方よりの公文送付による新聞報不敬記事  
事件交渉の打切りについて

二、依テ本官ハ唐トノ應酬ハ全然内部關係ナレハ間ハストスルモ結局本官ヨリ直接、間接ニ之迄手ヲ盡シテモ市長ハ日本政府ヲ満足セシムル程度ノ考慮ヲ加フルコト不可能ナリトノ意ナリヤト詰寄リタル處劉ハ遺憾乍ラ既ニ市長ハ

トシテ爲シ得ヘキ限リヲ断行セル次第ナレハ爾餘ノ件ハ

口頭ヲ以テ繰返シ御誓約シ居リ此ノ際自分ヨリ公文書替

ヲ實行スルコト諸般ノ事情ニ照ラシ全ク不可能ナレハ之

ニテ御寛怒<sup>(怒カ)</sup>アリ度シト繰返シ述ヘタルニ付本官ハ更二百

方我方ノ主張ヲ説明シタルモ一向ニ甲斐無カリシニ付兎

モ角我方ニ於テ今後本件ニ關シ執ルヘキ處置ヲ留保スト

明言シテ引取リタリ

三、就テハ累次拙電ニ依リ御承知ノ通本官ニ於テ凡ユル方面

ノ關係ヲ迫リ手ヲ盡シ見ルモ事情右ノ如クニテ此ノ上市

長ニ壓迫ヲ加フレハ機微ナル當地政局ノ關係上劉ハ其ノ

地位ニ動搖ヲ來スコト明カナルニ依リ本件ハ貴電第三〇

號末段ノ御趣旨ニ依ル公文ヲ送リテ打切りト致度ニ付右

二御含置相成度シ

公使、北平、奉天、南京へ轉電セリ

829 昭和7年6月4日

在廣東須磨總領事代理宛(電報)  
斎藤外務大臣より

華強日報不敬号外事件に關し市政府に嚴重抗

議方訓令

830 昭和7年6月11日

在廣東須磨總領事代理より  
斎藤外務大臣宛(電報)

華強日報不敬号外事件に關する市當局の遺憾

の意表明について

廣 東 6月11日後発  
本 省 6月11日後着

第四三一號

往電第四二六號ニ關シ

十日劉市長ヨリ吳秘書ヲ派遣越シ實ハ本件號外ニ付公安局長トモ協力シ其出所經路等調査セルカ何分ニモ時日經過シ居リ取調困難ナリシモ當地ニ於テ印刷セラレタル形跡ナク恐ラク他地方ニ於テ印刷セラレ秘密裡ニ少量搬入セラレタルモノト認メラレタルモ本件ノ如キ不都合ナル號外カ當市ニ於テ販賣セラレタルハ遺憾ノ極ミナルニ付公安局ヲシテ一層取締ヲ嚴重ニスル様命令セシメタリトテ誠實ナル辯解ノ辭ヲ傳達セシメタリ

依テ本官ヨリ今後トモ吳々モ注意方念ヲ押シ置ケリ

支ニ轉電セリ

831 昭和7年9月7日 在上海村井總領事より  
内田外務大臣宛(電報)

上海報の不敬記事掲載に關し市長への抗議な  
らびに内地における記事差止め方について

本 省 9月7日後着  
上 海 9月7日後發

第三六號

貴電四二一號ニ關シ

新聞報事件カ甚夕不満足乍ラ漸ク解決シテ幾干モナク又々

本件ノ如キ我皇室ニ關スル荒唐無稽ノ報道カ貴地ニ於テ捏

造セラレ而モ實在セサル新聞號外トシテ公然販賣セラレタ

ルカ如キハ畢竟貴地當局カ取締ノ責ヲ盡ササリシニヨルモ

ノト見ルノ外ナク先方累次ノ言明上捨テ置キ難キモノト思

考セラルル處貴方ヨリハ未タ何等手配シ居ラレサルヤニモ

認メラルルニ付此際今後ノ取締ニ付嚴重市政府當局ノ注意

ヲ喚起シ置カレタシ

支ヘ轉電セリ

832 昭和7年9月7日 在上海村井總領事より  
内田外務大臣宛(電報)

拓務省小川課長ニ於テ適宜通知ヲ殖民地ニ出ス

上海報不敬記事事件に關する解決要求条項等  
につき承認方要請

本 省 9月7日後着  
上 海 9月7日後發

第九八九號(至急極秘扱)

往電第九八六號ニ關シ

七日午後市政府參事殷汝耕ヲ招致シテ當該記事ヲ示シ上海事變ノ直前ニハ彼ノ民國日報ノ不敬記事アリ四月廣東新聞ニ轉載等ノコトナキ様取締方申入置キタル次第アリ刻下日

支關係頗ル機微ナルモノアル際性懲リモナク又復此ノ種不届至極ナル不敬事ノ出現ヲ見タルハ甚々遺憾トスル所ナルカ事柄ノ重大性ニ鑑ミ何レ正式抗議ハ市長宛公文ヲ以テ提出スヘキモ此ノ際不取敢市政ニ於テ他ノ新聞ニ轉載等ノコトナキ様取締ルハ勿論上海報ヲシテ該記事ノ取消及謝罪文ノ掲載等ヲ遲滯ナク實行セシムル等陳謝ノ誠意ヲ示スト

ト肝要ナルヘキ旨市長吳鐵城ニ傳達アリタシト述ヘタルニ

殷ハ恐縮シ右ハ恐フク反政府系ノモノノ策動ト思ハルモ

兎ニ角早速委細市長ニ面述スヘシトテ引取りタリ

就テハ本件ハ刻下ノ事態ニモ鑑ミ急速解決ノ要アリ旁々大体廣東ニ於ケル前例ニ準シ

一、市長ハ本官宛公文ヲ以テ陳謝ノ意ヲ表スルコト

二、上海報ノ責任者ヲ處罰スルコト

三、上海報ハ取消謝罪文ヲ掲載スルコト

四、右掲載ノ上ハ相當期間ノ停刊ヲ命スルコト

ヲ以テ解決條件ト致度キ處右ニテ差支ナキヤ否ヤ折返シ御

回訓ヲ請フ

冒頭往電ノ通轉電轉報セリ

駐滿全權ヨリ奉天ヘ轉報アリタシ

833

昭和7年9月23日 在上海石射總領事より

内田外務大臣宛(電報)

上海報不敬記事事件は市長の公文回答をもつて解決とした旨意見具申

上海 9月23日後發 本省 9月23日後着

第一〇七五號

往電第一〇〇八號ニ關シ

市政府ハ本件ノ如キ比較的小ナル問題ヲ我方カ大袈裟ニ取扱ヒ公文ヲ以テ四箇條ノ要求ヲ提出セルハ了解シ得ヌ且逸早ク新聞社ヲシテ取消陳謝ノ記事ヲ掲載セシメタル誠意ヲ認メラレ度シトテ市長ノ公文回答ヲ回避スル態度ニ出テ又

憲ラシメノ爲十四日ヨリ二日間停刊セシメタリ」トノ次第

ヲ回答越シタリ然ル處責任者處罰ニ付我方ハ法律ニ依リ處

斷スルコトヲ提議シタルニ先方ハ斯テハ却テ外部ニ公表セ

ラル機會ヲ作ルコトト爲リ内密穩便解決ノ趣旨ニ副ハス

處置困難ナリトノ事ナリシ爲行政處分ニ止メ置キタル次第

ニテ又停刊期限モ猶長期タルコトヲ要求シタルモ先方ハ小

報操縱ノ困難並ニ本件擴大ノ虞アルコトヲ顧慮シテ且命令

濟ナルヲ理由ニシ政府側ノ苦心ニ對シ諒解アリ度シトテ讓

ラス他方時偶々滿洲國承認並ニ九、一八記念日ニ當リ警備

其他交渉關係モアリ又當地ノ土地柄ニモ顧ミ右以上ノ要求ハ到底貫徹ノ見込無キヤニ認メラルヲ以テ旁右公文ノ受

834 昭和7年10月10日 在廣東吉田總領事代理より

内田外務大臣宛(電報)

雜誌「晨光」の不敬記事掲載について

廣東 10月10日後發 本省 10月10日後着

第六〇九號

十月九日發行雜誌晨光第五號ハ「日本大正皇帝ノ秘密病ト

肉感的醜劇」ト題シ往電第二五七號別電ト同趣旨ノ不届ナ

ル不敬記事ヲ掲載シ居レリ

發行所及發行人等紙面ニ明示ナク探查中ナルモ右不取敢電

報ス

尙本件内地其ノ他ヘノ通信ハ差留メ置キタリ  
支、北平、滿、天津、青島、濟南、福州、廈門、汕頭、漢口、南京へ轉電セリ

支ヨリ上海へ満ヨリ奉天へ轉報アリタシ  
香港へ暗送セリ

835

昭和7年10月10日

在廣東吉田總領事代理より  
内田外務大臣宛(電報)

晨光不敬記事事件に關し市長に解決のための

## 五条件要求について

広 東 10月10日後発  
本 省 10月10日後着

第六一〇號(至急)

往電第六〇九號ニ關シ

一、諜報者ヲシテ取調シメタル處晨光ハ發行所ハ不明ナルモ  
關係者ハ國民新聞主筆麥秀岐(一月二十一日附機密公第  
一〇五號拙信)及晨報(同二十五日附機密第一二〇號拙  
信)記者等ニシテ印刷所ハ當地粵花興印務局ナル趣ナリ

二、惟フニ當地ニ於ケル此種不敬事件ハ新聞報問題以來一再  
ニ止マラサルノミナラス殊ニ最近ノ國民日報事件ノ解決

後旬日ナラスシテ今本件ノ發生ヲ見タルハ市長取締ノ誠  
意モ疑ハルル次第ニテ本官トシテモ憤激ノ至ニ堪ヘサル

836 昭和7年10月11日 在廣東吉田總領事代理より  
内田外務大臣宛(電報)

支ヨリ上海へ満ヨリ奉天へ轉電セリ  
在支公使、北平、滿、天津、青島、濟南、福州、廈門、汕頭、漢口、南京へ轉電セリ  
支ヨリ上海へ満ヨリ奉天へ轉報アリタシ

香港へ暗送セリ

836 昭和7年10月11日 在廣東吉田總領事代理より  
内田外務大臣宛(電報)

支ヨリ上海へ満ヨリ奉天へ轉電セリ  
在支公使、北平、滿、天津、青島、濟南、福州、廈門、汕頭、漢口、南京へ轉電セリ  
支ヨリ上海へ満ヨリ奉天へ轉報アリタシ

## について

広 東 10月11日後発  
本 省 10月11日後着

第六一一號(至急)

往電第六一一號ニ關シ

十一日本官市長ヲ往訪本件晨光ヲ提示シ當地ニ於テ客年以  
來此ノ種不祥事件ノ頻發スルハ本官ノ甚々遺憾トスル所ニ  
シテ殊ニ民國日報事件以來尙一ヶ月ヲ經サル今(日)又重テ

斯ノ如キ事件ノ發生セルハ市當局カ嚴重取締リツツアリト  
云フ屢次ノ聲明ニモ拘ラス其ノ誠意ヲ疑ハサルヲ得サル旨  
並本件ノ重大ナル所以ニ付縷々説明シ更ニ貴電第五七號ニ  
基ク市長宛公文ヲ「レフアーネ」シ帝國政府ノ此ノ種事件ニ  
對スル決意ヲ述ヘタル上本件ハ誠意ヲ以テ速ニ解決スルヲ  
要スル旨前提シ冒頭往電第六一〇號ニ掲ケタル解決條件ヲ  
提出シタル處市長ハ聊カ狼狽ノ色アリ種々辯疏シタルカ前  
記條件中(二)付即座ニ之ヲ承諾シタルモ(イ)(ロ)ニ付テハ  
言ヲ左右ニシテ勘辨アリタキ旨述ヘタルヲ以テ本官ハ右條  
件中一項タリトモ缺クルトキハ本官ハ満足スル能ハサルモ  
ノナルカ故ニ篤ト考慮ノ上回答アリタキ旨申聞ケ置キタリ  
尙今猶市中ニ販賣セラレ居ルヘキ本件雜誌ノ即時回収並  
亡防止ノ爲責任者ノ行動監視方ヲ申入レタル處市長ハ公安  
局長ト打合セノ上即時必要ノ手段ヲ講スヘキ旨答ヘタリ

右不取敢

支ヨリ上海へ満ヨリ奉天へ轉報アリタシ

支、北平、滿、天津、青島、濟南、福州、廈門、汕頭、漢  
口、南京へ轉電シ、香港へ暗送セリ

837 昭和7年10月13日 在廣東吉田總領事代理より  
内田外務大臣宛

## 涉経過について

民国日報不敬記事事件に關する市當局との交  
渉経過について  
(11月1日接受)

機密公第一〇四〇號  
昭和七年十月十三日  
在廣東

總領事代理 吉田 丹一郎〔印〕  
外務大臣伯爵 内田 康哉殿  
民国日報ノ不敬行列記事掲載事件ニ關スル交渉顛  
末報告ノ件

本件ニ關シテハ屢次ノ拙電ニテ委曲及報告置キタル處右頗  
未取纏メ左記報告旁本件結末ニ付御訓電ノ趣旨ニ基キ市長  
宛送付セル九月廿九日附公文写別紙甲号ノ通り送附ス御查

處ナルヲ以テ早速市長ニ對シ嚴重抗議申入ルヘキ筈ノ處  
本日ハ偶々雙十節ニ相當スルヲ以テ明十一日次ノ五條件  
ヲ以テ本件交渉ノ積ナリ

(イ)市長ハ公文ヲ以テ陳謝遺憾ノ意ヲ表スル事  
(ロ)市長ハ責任者ヨリ謝罪文ヲ徵シ之ヲ本官ニ轉交スル事  
(ハ)市長ハ將來此種事件ノ取締方ニ關シ保障誓約ノ事  
(二)責任者ヲ法ニヨリ處罰スル事

(三)晨光ヲ廢刊セシムル事  
在支公使、北平、滿、天津、青島、濟南、福州、廈門、汕  
頭、漢口、南京へ轉電セリ

一、九月二十日廣州民国日報ハ九月十八日國難記念示威行列中当地海員工會所屬部員カ日本皇帝及日本軍人ニ扮セル

者ヲ鉄鎖ニテ縛シ之ヲ射殺セントスルノ狀ヲ示セル催シ物假裝ヲモノシタル趣ヲ報道セリ

二、然ル處當方ニ於テ各方面ニ付慎重ニ調查セル結果ニ依レハ當日日本軍人ニ仮裝セル者行列中ニアリタルコトヲ認メタルモ日本皇帝ニ扮裝セルモノハ之ヲ認メ得サリシモ既ニ黨部機關紙タル民国日報ニ掲ケラレタル以上支那側當事者トシテハ右假裝ノ事實ヲ認メタルモノト看做シ且又當地ニ於テハ曩ニ共和報及新聞報ノ不敬記事掲載事件アリ然モ九、一八記念日ニ付テモ事前本官ヨリ支那當局ニ対シ警告ヲ與ヘ置キタルニモ不拘復又性懲リモ無ク不至極ノ非禮ヲ敢テセルニモ顧ミ本官ハ九月廿一日市長ト會見シ前記新聞記事ヲ提示シタル上屢次ノ不敬記事事件ヲ發生シ今亦重ネテ同様事件ヲ繰返スカ如キハ支那當局ノ取締リニ対スル誠意ヲ疑ハサルヲ得サル旨今次ノ事件ニ至リテハ皇軍ニ対スル侮辱タルノミナラス其ノ不

三、右ニ對シ市長ハ頗ル當惑ノ色ヲ示シ眞偽取調ヘノ上事実ナルニ於テハ貴意ニ從ヒ解決スヘキニ付ソレ猶豫アリ度シト答ヘ次テ同日午後市長ハ伍參事ヲ派シ百方陳辨ニ努メ目下調査中ナル旨ヲ述ヘシメタルヲ以テ本官ハ調査ニ名ヲ藉リ解決遷延スヘカラス宜シク三日間以内ニ事實調査ヲ爲スヘキ旨ヲ以テ應酬シタル處伍ハ右ハ無論ノコトナルカ若シ右様事實無カリシトセハ如何スヘキヤト問ヘルニ付然ル時ハ(一)新聞社ヲシテ取消記事ヲ掲載セシムルコト(二)本件報道ニ対シ市長ニ於テ海員工會乃至新聞社ノ責任者ヨリ深甚ナル遺憾ノ意ヲ表セル信書ヲ取付ケ之ヲ本官ニ取次クヘキコトノ必要ナル旨ヲ述ヘ置ケリ

四、九月廿二日ノ民国日報ハ紙上ニ「今般海員工會ヨリ九、一八國難記念ノ記事中同會工人力日本皇帝及日本兵ニ扮裝シ云々ノ記載アリタルモ右ハ事實ニ符合セサルヲ以テ更正アリ度キ旨ノ申入レアリタルニ依リ該記事ヲ更正

スル」趣ノ取消文ヲ掲ケタリ一方同日伍ハ再ヒ本官ヲ來訪シ前日本官ノ許ヲ辞去後早速伍自身親シク海員工會ニ付取調ヘタル處本件事実無キコト判明セルヲ以テ直ニ同工會幹部ヲシテ自分立會ノ上新聞社ニ対スル取消要求文ヲ起草セシメ今朝ノ民国日報ヲシテ取消文ヲ掲載セシメタルカ党部トノ機微ナル關係ヲ諒察セラレ本件ハコレニテ寛恕アリタキ旨ヲ申出テタルカ本官ハ事實無根ナル場合ニ於ケル解決辦法ハ昨日申聞ノ通りナリト述ヘ置ケリ

五、九月廿三日市長ハ公文ヲ以テ「本官ノ要求ニ依リ民国日報社ニ対シ事實調査ノ上答申方ヲ命シ置キタルカ今般編輯人ヨリ右ハ事實ニ相違セルニ付廿日ノ紙上ニ取消文ヲ掲載セル旨回答アリタルニ付御承知アリタシ」旨ヲ申越セリ仍テ本官ハ伍ヲ召致シ不満足ノ旨ヲ言渡セルカ伍ハ

市政府ノ困難ナル立場ヲ娓々トシテ述ヘ立テ居タリ  
六、斯クテ市長ハ九月廿四日更ニ伍參事ヲ本官許ニ派シ口頭ヲ以テ「市政府トシテハ本件ニ閑シ前例ナキ程迅速ニ調査ヲ了シ貴官ノ抗議アリタル翌朝ニハ早クモ新聞紙上ニ取消文ヲ出サシメタルヲ以テ市政府側ノ誠意ヲ認メラレ度且ハ市長ニ於テモ本件ノ發生ヲ不幸ナル出来事ト認メ

居ルニ付テハ諒トセラレ度キ旨ヲ申出テタリ一方本件ニ付テハ當方ニ於テ其ノ後モ警備艦側其他ト協力シ入念ニ所有ル調査ヲ行ヒタルカ本件事実アリタルコトヲ認メラレス且ハ市長対党部ノ關係ニ鑑ミ是レ以上固執スルモ徒ラニ紛糾遷延ヲ重ヌルノミニテ實際的効果ナカルヘキヲ思ヒ此ノ旨請訓シ御回訓ニ基キ別紙ノ如キ公文ヲ市長宛送附シタル上本件ハ一應右ニテ打切りトセル次第ナリ

本信寫送附先  
公使、北平、滿洲、天津、濟南、漢口、南京、福州、廈門、  
汕頭、上海、奉天、

（別紙甲號）  
日領第九九號  
昭和七年九月廿九日  
在廣東

廣州市長代理 劉紀文殿  
總領事代理 吉田 丹一郎  
拜啓陳者九月廿日廣州民國日報ニ掲載セラレタル海員工會所屬工人ノ日本皇帝及日本軍人ニ扮裝シ不敬ニ亘ル舉動

ヲ衆ニ示セル旨ノ一節ニ關シテハ曩ニ本總領事ヨリ貴市長ノ注意ヲ喚起致置候處九月廿二日同報ハ海員工會ヨリスル扮裝ナカリシ旨通知アリタル趣ヲ以テ取消文ヲ掲載シ尙貴市長ヨリ伍參事ヲ本總領事ノ下ニ派シ種々貴方ノ事情ヲ説明セラレタル外九月廿三日民國日報副編輯劉帆聲ヨリ伍參事ニ宛テタル取消文掲載ノ經緯ヲ申述ヘタル書函御取次ノ次第有之應閱悉致候

查スルニ本件不敬假裝ノ問題ハ右ニ依リ事實無根ナルコト判明致候ヘトモ民國日報カ事實ノ調査ヲ俟タススカル不敬

ニ亘り且國交上ニモ影響ヲ及ホス惧アル記事ヲ敢テ掲載シ徒ニ我方 皇室及國民ニ對シ不快ノ念ヲ與ヘタルハ本總領事ノ最モ遺憾トスル所ニシテ同報ノ責任ハ單ニ取消文ノ掲載ノミヲ以テ解除セラレタルモノト諒承スル能ハサル所ニ有之候然ル處本總領事ニ於テハ事件ノ擴大ヲ避クルノ見地ヨリ本件措置ニ關シテハ不滿足乍ラ特ニ今回限り此レ以上ハ不問ニ附スルコトト致スヘク候

抑々當地ニ於テハ曩ニ共和報及新聞報ノ不敬記事掲載事件發生シ而カモ之カ責任者ハ今ニ及フモ猶成規ニ依リ處罰セラレサルニ今又本件ノ如キ不祥事ノ發生ヲ見タル次第ナル

ヲ以テ若シ今後斯ル事件ヲ繰返スカ如キコトアラムカ本國政府ニ於テハ最早到底之ヲ寛容シ得サルヘキハ勿論其ノ結果如何ナル不祥事發生スルヤ圖リ難キニ付我方ノ事情ニ通曉セラル貴市長ニ於テハ此點篤ト御考量相成リ充分御配慮ノ上關係新聞紙其他言論ノ取締ハ勿論民衆諸團體ノ指導ニ付テモ最善ヲ盡サレ將來同様事件ノ再發防止ニ付充分御取締相成度此段照會旁々得貴意候 敬具

(別紙乙號)

一、市長ハ本總領事ニ對シ公文ヲ以テ鄭重陳謝ノ意ヲ表スルト共ニ將來ニ於ケル取締方ヲ誓約スルコト  
二、法ニ依リ責任者ヲ處罰スルコト  
三、當局ヨリ關係團體ニ對シ將來此ノ種不敬ニ亘ル行動ヲ再ヒ爲ササル様嚴重戒告スヘキコト

838 昭和7年10月29日 在広東吉田總領事代理宛(電報)  
晨光不敬記事事件交渉に關し嚴重抗議方訓令

本省 10月29日後9時30分發

第六八號(極秘)  
貴電第六一六號ニ關シ  
交渉ノ模様ニ鑑ミ此際多少威壓的態度ヲ裝フコト已ムヲ得サルヤニ認メラルルニ付貴官ハ市長ニ對シ今同政府ヨリ「帝國政府カ曩ニ三回ニモ亘ル不敬記事々件ノ内容ヲ嚴秘ニ附スル一方多大ノ不滿足ヲ忍シテ穩便ニ事ヲ濟マセタルハ事態ノ惡化從テ國交ニ及ホス不測ノ影響ヲ防止セムトノ誠意ニ出テタルモノニ外ナラサル處今回又々本件ノ如キ不始末ヲ出來シタルハ餘リニモ性懲リ無キ次ニシテ最早ヤ支那側ノ兔角ノ陳辯ヲ聽クノ餘地無シ然ルニ市長カ依然責任逃レニ努メ當然爲スヘキ陳謝サヘ難シ居ルハ言語<sup>(道ガ)</sup>同斷ニシテ若シ支那側ニ於テ飽ク迄斯カル無責任ナル態度ヲ改メサルニ於テハ帝國政府トシテモ其ノ國民ニ對スル立場上是レ以上忍耐シ切レサルヲ以テ場合ニ依リテハ内外ニ對シ累次ノ不敬記事事件及支那官憲ノ不誠意ヲ打明ケ國際儀禮ニ對スル支那側ノ類例稀ナル違反行爲ニ對シ自ラ正當ト信スル所ニ從ヒ救正<sup>(和カ)</sup>手段ヲ執ルヲ辭セサル決意ナルニ付支那側

當局ニ窮極ニ於テ我方要求ヲ容ルルノ誠意アリヤ否ヤヲ確メタル上電報スヘシ」トノ電訓ニ接シ貴官ノ立場極メテ重查スルニ本件不敬假裝ノ問題ハ右ニ依リ事實無根ナルコト判明致候ヘトモ民國日報カ事實ノ調査ヲ俟タススカル不敬ニ亘り且國交上ニモ影響ヲ及ホス惧アル記事ヲ敢テ掲載シ徒ニ我方 皇室及國民ニ對シ不快ノ念ヲ與ヘタルハ本總領事ノ最モ遺憾トスル所ニシテ同報ノ責任ハ單ニ取消文ノ掲載ノミヲ以テ解除セラレタルモノト諒承スル能ハサル所ニ有之候然ル處本總領事ニ於テハ事件ノ擴大ヲ避クルノ見地ヨリ本件措置ニ關シテハ不滿足乍ラ特ニ今回限り此レ以上ハ不問ニ附スルコトト致スヘク候

抑々當地ニ於テハ曩ニ共和報及新聞報ノ不敬記事掲載事件發生シ而カモ之カ責任者ハ今ニ及フモ猶成規ニ依リ處罰セラレサルニ今又本件ノ如キ不祥事ノ發生ヲ見タル次第ナル

839 昭和7年10月31日 在広東吉田總領事代理より  
内田外務大臣宛(電報)

晨光不敬記事事件について市長との交渉を打切り省政府さらに西南政務委員会を交渉相手とし解決を計りたき旨意見具申

広東 10月31日後發  
本省 10月31日後着

第六三九號(大至急)  
貴電第六八號ニ關シ

廿七日本官市長ニ會見ノ際其場ノ掛引上本官限ノ取計ニテ既ニ市長ニ對シ「本件發生以來既ニ二十日ニシテ未夕解決ノ見込着カサル爲本國政府内ニハ甚々面白カラサル空氣釀

成セラレツツアリ憂慮ニ堪エサル」旨並ニ「如何ナル文明國ニ於テモスル不誠意ナル態度ハ諒解シ難カルヘキ」趣ヲ述ヘタル處市長ハ「自分ハ(一)及(二)誠實ニ履行スル事ヲ以テ充分ナリト信シ居リ本件交渉經過發表セラル事ハ自分ノ望ム所ニシテ恐フク世論ハ自分ノ誠意ヲ肯定スヘシ」ト

答ヘタル次第ニシテ頗ル頑迷ナルカ本官ハ市長トノ折衝ニ

依リ得タル印象ニ依レハ市長ハ大體新聞報事件解決ノ「ラ

イン」ニ依リ本件ヲ解決セシメムトスルモノノ如ク即チ新

聞報條件ニ於テハ同報ノ自發的<sup>(雑刊)</sup>提案並ニ市長ノ公文ニ依

リ惋惜ノ意ヲ表示スルコトニ依リ解決シタルニ對シ今回ハ

既ニ責任者ノ處罰及雜誌ノ廢刊ヲ命シタルヲ以テ此上精々

惋惜ノ意ヲ表示セハ充分ナリト考ヘ居ルモノノ如ク觀察セ

ラル

本件ノ如キハ此際徹底的ニ解決セサルニ於テハ益々彼等ヲシテ圖ニ乘ラシムルノミナラス將來ニ惡例ヲ貽シ再ヒ此種事件交渉ニ際シ禍トナル次第ナルヲ以テ本官ハ御電訓ノ意ヲ體シ更ニ一應市長ノ反省ヲ促スニ努ムヘキモ市長ノ態度依然變ラサルニ於テハ最早市長トノ交渉ヲ打切り省政府當局更ニ進テ西南政務委員會ヲ交渉相手トシ飽迄本件ノ徹底

的解決ヲ計リ度キニ付右ニテ御差支無キヤ何分ノ儀御回電相成度シ

例ノ通轉電、暗送セリ

支ヨリ上海ヘ、滿ヨリ奉天ヘ轉報アリ度シ

840 昭和7年11月15日 在広東吉田總領事代理より

内田外務大臣宛(電報)

晨光不敬記事事件解決のため陳濟棠に尽力依

賴方請訓

廣 東 11月15日後発  
本 省 11月15日後着

(一)往電第六五五號ニ關シ

十四日午後劉市長ヲ往訪貴電第六八號御訓令ノ趣旨ヲ述へ更ニ之ヲ敷衍説明シ本官カ本件ニ關シ圓滿ナル解決ヲ得ンカ爲努メテ隱忍誠意ヲ以テ事ニ當リ來レルニ拘ラス延引今日ニ及ヘル爲此ノ種訓令ニ接シタルハ本官ノ遺憾トスル所ナルノミナラス爲ニ本官ノ立場頗ル重大トナレル旨時餘ニ亘リ縷々述ヘタル處市長ハ本件ハ地方官憲トシテハ既ニ能

フ限リヲ盡シタル次第ニシテ之以上ハ市長タルノ權限ニ於テ爲スコトヲ得ス市長トシテノ本件解決振ノ正當ナリヤ如何ニ付第三者ヲシテ判斷セシムルコト然ルヘク之カ爲更ニ過去ノ關係文書等ヲ公表スルモ差支ナシ又貴方ニ於テ今次自分ノ處置ヲ不良トセラルニ於テハ地方官憲タル自分ノ手ヨリ之ヲ中央外交當局ニ移サルルコト然ルヘシト存スト答ヘタリ

(二)右ノ次第ニシテ所謂「不貞腐レ」的態度ヲ持シ更ニ誠意ノ認ムヘキナク本官トシテハ從來忍フヘカラサルヲ忍ヒ相當手ヲ盡シタルニモ拘ラス市長ノ頑迷遂ニ之ヲ啓發シ得サ

ルハ誠ニ殘念ナル次第ナルカ此上ハ最早市長ヲ相手トスルモ甲斐ナク去リトテ勿論遽ニ武力威嚇モ考物ナルヘク將又此種地方的問題ヲ直ニ中央ノ交渉ニ移スモ面白カラス殊ニ

或ハ本件ヲ以テ廣東側ハ中央窘メノ具トナサントスル底意ナルヤニモ推察セラレサルニ非ス旁今後或ハ已ムナク中央

ノ交渉ニ委不サルヘカラサルニ至ルヤモ計ラレサルモ

一應當然ノ順序トシテハ省政府當局ヲ相手トシ交渉スヘキ筋合ナルモ省政府ニ於テハ廣州市内ニ發生セル外交關係事務ハ凡テ廣州市長ヲシテ之ニ當ラシムル立前ナルヲ以テ今

例ノ通轉電暗送セリ

支ヨリ上海、奉天ヨリ満へ轉報アリ度シ

晨光不敬記事事件に關し陳濟棠は會見を回避  
したため市政府側とのこれ以上の交渉は困難

の旨意見具申

昭和7年11月21日

内田外務大臣より  
在廣東吉田總領事代理宛(電報)

廣東 12月29日後発  
本省 12月30日後着

晨光不敬記事事件に關し陳濟棠に尽力依頼方訓令

本省 11月21日後8時20分發

貴電第六六六号ニ閱シ

唐紹儀(貴電第六六〇号)及杜副參謀長(貴電第六一四号)等ノ態度ニ鑑ミ是等外部勢力ノ壓力ニ依リ目的達成ヲ試ミルコト強チ徒勞トモ認メラレサルニ付テハ冒頭貴電(三)ノ通陳濟棠ヲ動カシテ本件解決ニ尽力セシムル様再應御努力アリ度ク其ノ上ノ対策ハ陳ノ態度ヲ見極メタル上改メテ考慮スルコト、致度

冒頭貴電ノ通轉電セリ

往電第七一〇號ニ閱シ  
第七四三號

一、貴電第七一號御來訓ノ次第モアリ曩ニ陳濟棠ニ會見方申入レ置キタル處陳ヨリ本官ニ關シテハ會談ヲ避ケ度旨同答越シ更ニ梁植槐ヲシテ本官ニ傳ヘシメタル處ニ依レハ陳ハ之ヨリ先米國艦隊司令官歡迎午餐會ノ折劉紀文ニ對シ本件成行ニ付問ヒタル處劉ハ極メテ不愉快ナル顔付ニテ「本件ハ既ニ圓滿ニ解決セリ」ト頗ル簡單ニ答ヘタル儘陳ノ側ヲ離レタル事實アル由ニテ陳ハ右ヲ以テ劉カ本件ニ關シ他人ヨリ誤解セラルルヲ極度ニ嫌ヒ居ルモノト解シ殊ニ元來本件ハ陳ノ主管事務ニモ非ス當地ノ事ナラハイザ知ラス本件ニ關スル限り劉其他ヨリ誤解セラルルヲ恐レ面談ヲ避ケ度キ希望ナル由ナリ

二、冒頭往電唐紹儀往訪後唐ハ十九日來廣、二十四日迄滯在シ

842 昭和7年12月29日

在廣東吉田總領事代理より  
内田外務大臣宛(電報)

タル處本官病氣ノ爲其間面會ノ機ヲ得ス唐、劉間ニ如何ニ話合アリシヤ不明ナルモ二十八日兎モ角市長ヲ訪問本件ニ付更ニ市長ノ再考ヲ促シタリ

三、市長ハ「本件ハ新聞報事件同様殊ニ犯人ノ處罰ニ付テハ一層嚴重ニ處分シタルモノナルニ付新聞報事件ニ付テハ貴官前任者ハ終始好意ヲ以テ該事件ヲ圓滿解決セラレタルニ貴官カ本件ニ付殊更飽迄モ「プレス」セラルルハ了解シ難キ處ナリ」ト述ヘタルヲ以テ本官ハ「新聞報事件ニ付帝國政府カ決シテ滿足シ居ラサルコトハ當時本官前任者ヨリ貴市長宛公文ニ依ルモ明カニシテ本件モ亦現在ノ處置ヲ以テ滿足スル能ハス」トテ從來ト略同様ノ議論ヲ繰返シタルモ市長ハ頑トシテ聽カス依テ本官ハ「然ラハ市長ハ該雜誌ハ市政府ト何等關係無キヲ以テ責任ヲ負フ能ハスト考ヘ居ラルモノナリヤ」ト確カメタル處「其ノ通ナリ」ト答ヘタルヲ以テ本官ハ更ニ「上

海、漢口等ノ例モアリ一應再考セラレテハ如何」ト念ヲ推シタル處市長ハ「此ノ上再考スルモ自分ノ意見ハ變ラサルヘシ」ト述ヘタリ

四、累次御報告申置ノ通り本件ニ關シテハ事件發生以來既ニ三ヶ月其ノ間種々手ヲ盡シ交渉シタルモ市政府側ハ飽迄新聞報事件ヲ楯ニ取り此ノ上ノ處置ヲ肯セス他方面ヨリノ間接的牽制モ效無ク甚タ乍遺憾當地方政府ヲ相手トシ此ノ上交渉ヲ續クルモ何等之レ以上ノ結果ヲ得ヘシトモ思ハレス左リトテ今更實力ヲ表示スルハ面白カラサルヲ以テ此ノ上ハ中央ニ於ケル何等「インフルーエンス」ニ依リ本件圓滿ニ交渉再開方御處置相仰クカ或ハ誠ニ乍遺憾已ムヲ得スンハ交渉ヲ中央ニ移スノ外無カルヘシト存セラル

冒頭往電ノ通り轉電、暗送セリ